

令和7年度 第1回久留米市立図書館協議会

日 時 令和7年8月12日（火） 午前10時30分

会 場 久留米市立中央図書館3階会議室

次 第

1 開会

2 委員紹介

3 会長選出

4 議事

- (1) 令和6年度 久留米市立図書館実績報告 資料1
 - ・電子図書館の利用状況 資料2
 - ・令和7年2月15日～3月31日「くるめ広域電子図書館」利用アンケート集計 資料3
- (2) 令和7年度 久留米市立図書館運営方針及び事業スケジュール 資料4
 - ・田主丸図書館仮出張所拡張 資料5
- (3) 第5次久留米市子どもの読書活動推進計画の策定について 資料6
 - ・計画策定スケジュール 資料7
 - ・アンケート結果報告 資料8

5 その他

6 閉会

【資料】

- ・次第 ・委員名簿 ・事務局名簿 ・久留米市図書館協議会条例
- ・市立図書館 視聴覚ライブラリー 要覧 2025

久留米市立図書館協議会委員名簿

区分	氏名	役職名又は所属
学校教育の 関係者	ともゆり 友野 優里	久留米市私立幼稚園協会 (成田山幼稚園園長)
	いけだ かほり 池田 香保里	久留米市小学校長会 (弓削小学校校長)
	えがしら のぶひと 江頭 信人	久留米市中学校長会 (城南中学校校長)
	いのうえ じゅんろう 井上 淳郎	筑後地区公立高等学校等校長協会 (福岡県立伝習館高校校長)
社会教育の 関係者	ながまつ ちえ 永松 千枝	久留米男女平等推進ネットワーク 会長
	とりこえ ただひろ 鳥越 忠廣	久留米市校区まちづくり連絡協議会 (市民学習部会部会長)
	いなます ひでこ 稲益 英子	久留米市社会教育委員 生涯学習推進課内
家庭教育の 向上に資す る活動を行う 者	たかやま きよみ 高山 きよみ	図書館ボランティア 小さいがらがらどん(北野図書館)
	とみた はるみ 富田 春美	図書館ボランティア たんぼぼ(城島図書館)
	きくち やすみ 菊地 安美	音訳ボランティア せせらぎ
	つかもと たかし 塚本 高士	久留米市保育協会 (子鳩保育園 園長)
学識経験の ある者	ふじばやし えいこ 藤林 詠子	久留米市議会議員
	ながとし かずのり 永利 和則	福岡女子短期大学 特任教授
	ももどり なおき 百鳥 直樹	久留米大学 助教
	たろうまる ひとし 太郎丸 仁	福岡県立図書館 副館長
	うめの ともみ 梅野 智美	九州大谷短期大学 講師

※委員任期は令和8年6月30日まで

久留米市立図書館協議会事務局名簿

氏 名	役職名
いで たかとし 井手 尊利	館 長
しらたに ゆきこ 白谷 由紀子	主 幹
うすい れいこ 臼井 玲子	司書主幹 (司書職)
たなか のりこ 田中 典子	課長補佐
まえだ しょうご 前田 将吾	課長補佐
ありた さおり 有田 沙織	事務主査
ふかがわ ひろみ 深川 裕美	事務主査 (司書職)
ないとう みずき 内藤 瑞稀	主事
ふくしま じゅんいち 福島 順一	六ツ門館 主任主事
たなか としお 田中 稔男	田主丸図書館長
おごもり ひろみつ 尾篭 博光	北野図書館長
はら あきら 原 章	城島図書館長
ぜん かよこ 善 加代子	三瀨図書館長

○久留米市立図書館協議会条例

昭和 57 年 3 月 29 日
久留米市条例第 13 号

(趣旨及び設置)

第 1 条 久留米市立図書館の適正な運営を図るため、図書館法(昭和 25 年法律第 118 号)第 14 条の規定に基づき、久留米市立図書館協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(平 16 条例 118・一部改正)

(委員の任命の基準)

第 2 条 教育委員会は、協議会の委員を学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命するものとする。

(平 24 条例 14・追加)

(委員の定数)

第 3 条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、20 人以内とする。

(平 24 条例 14・旧第 2 条繰下)

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(平 24 条例 14・追加)

(会長及び副会長)

第 5 条 協議会に会長及び副会長 1 人を置き、当該協議会の委員の互選により選任する。

2 会長は、協議会の会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(平 24 条例 14・追加)

(会議)

第 6 条 協議会の会議は、会長が招集し、会議の議長となる。ただし、会長が選任される前の会議は、館長が招集する。

2 会長は、館長の諮問があったとき、又は委員の総数の 3 分の 1 以上の委員が審議すべき事項を示して会議の招集を請求したときは、速やかに、会議を招集しなければならない。

3 協議会は、その属する委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

4 協議会の議事は、会議に出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(平 24 条例 14・追加)

(委任)

第 7 条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関する事項は、会長が協議会に諮って定める。

(平 24 条例 14・旧第 4 条繰下・一部改正)

附 則

この条例は、昭和 57 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 16 年 12 月 28 日条例第 118 号附則第 4 項)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成 17 年 2 月 5 日から施行する。

附 則(平成 24 年 3 月 29 日条例第 14 号)

この条例は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

令和6年度
久留米市立図書館 実績報告

目 次

1 資料の収集と蔵書	1
(1) 資料の収集	1
(2) 蔵書	2
2 図書館運営	2
(1) 利用について	2
(2) サービスについて	4~8

1 資料の収集と蔵書数

(1) 資料の収集

①資料収集方針

中央図書館、六ツ門図書館、移動図書館、地域図書館（田主丸・北野・城島・三瀨）では、それぞれの施設規模、機能に応じた資料を収集し、全体として体系の取れた蔵書構成に努めています。

一般書については、市民の文化や教養、調査研究、レクリエーションなどに資するため、基本的、入門的資料のほか、必要に応じて、専門的資料も収集しています。また、児童書・絵本については、子どもたちが読書の楽しみを知り、豊かな感性と創造力を育む資料を収集しています。

②電子書籍収集方針

久留米広域連携中枢都市圏の構成市町（久留米市、大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町）が共同運用する電子図書館として、住民ニーズに対応した資料を幅広く提供できるように、各分野の基本的な電子書籍（コンテンツ）を収集しています。電子書籍は、各市町の公共図書館の紙媒体資料を補完し、電子書籍の特性を活かした蔵書構成となるよう努めています。

一般書・ヤングアダルト・児童書共通の方針として、読書に興味・関心を持ち図書館利用につながるような資料を収集しています。また、読書が困難な方の読書環境の整備を推進するため、音声読み上げ機能等が可能な読書バリアフリーに対応した資料を積極的に収集し、中高生・児童の学習に役立つ資料や紙媒体では収集対象としていない学習・資格参考書、問題集等も収集しています。

③資料展示

芥川賞・直木賞など文学賞に関する展示や郷土作家の葉室麟氏にかかる展示、パリオリンピック、大河ドラマ、時事的な問題、生活提案、季節的な行事に関する展示、図書館職員のおすすめ本の展示など様々なテーマで行いました。

また、各種行政課題の解決に向けて、自殺防止、男女共同参画、DV防止、反戦平和、防災、児童虐待防止、認知症、3R（リデュース・リユース・リサイクル）、農業、税などをテーマに展示を行いました。

中央図書館では、美術館が実施する企画展示（4回：ちくごist 尾花成春展、藍のものがたり展、日本が見たドニ／ドニの見た日本展、響きあう絵画 宮城県美術館コレクション カンディンスキー、高橋由一から具体まで展）にあわせ、期間中、関連した図書資料の展示や割引券付のしおりの配布など、美術館と連携した事業を行いました。

(2) 蔵書

蔵書数は令和4年度までは増加傾向、令和5年度はほぼ横ばい、令和6年度は再び増加傾向で推移しています。これは、令和5年度が豪雨災害に伴う予算の執行抑制があったことによるものです。

■蔵書数の推移

(単位：冊)

図書館	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
中央館	348,308	349,410	351,876	349,350	352,276
六ツ門館	86,240	88,552	91,095	92,906	94,588
田主丸館	99,235	99,997	100,834	94,558	95,717
北野館	109,226	111,303	113,215	117,119	118,559
城島館	120,092	120,596	122,164	124,004	124,791
三瀨館	90,104	91,871	93,663	95,598	97,173
合計	853,205	861,729	872,847	873,535	883,104

※図書及び視聴覚資料を含む。新聞・雑誌は除く

(各年度とも3月末現在)

※田主丸館は仮出張所蔵書数と旧浮島小に搬送している資料数の合計

※令和5年度は大雨被害により、予算の8割までの執行抑制あり

2 図書館運営

(1) 利用について

①登録要件

○市内居住者や市内通勤通学者

○以下の市町村の居住者

- ・大川市・小郡市・うきは市・大刀洗町・大木町（久留米広域市町村圏）
- ・小郡市・鳥栖市・基山町（3市1町図書館協力協議会）
- ・朝倉市・筑前町・東峰村（北筑後地区公共図書館協議会）

登録者の状況は、令和元年度以降のコロナ感染症の影響もあると思われますが、全体的に減少したのち増加に転じ、令和6年度はやや減少しています。

■登録者数の推移

(単位：人)

図書館	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
中央館	24,232	20,810	21,226	21,704	21,255
六ツ門館	4,726	4,497	4,748	4,904	4,897
田主丸館	3,078	2,663	2,688	2,360	1,747
北野館	3,745	3,243	3,327	3,412	3,369
城島館	2,780	2,402	2,403	2,406	2,333
三瀨館	2,948	2,701	2,813	2,829	2,929
合計	41,509	36,316	37,205	37,615	36,530

※2年以上未利用登録者は除く

(各年度とも3月末現在)

②利用状況

貸出者数は、横ばいで推移していましたが、令和4年度は増加に転じ、令和5年度は微減、令和6年度はやや増加となっています。

貸出冊数は、横ばいで推移していましたが、令和4年度は増加に転じ、令和5年度からやや減少となっています。

主な要因としては、令和元年度以降のコロナ感染症の影響や令和3年度に実施した中央図書館ZEB化等改修工事（10～12月）による休館等で低い水準で推移していたものが、コロナ感染防止対策の行動制限緩和を受けて増加に転じたのち、令和5年7月より田主丸館が休館（休館後、2月末に仮出張所開設）したこと、一人当たりの貸出冊数も微減していることが考えられます。

■貸出者数 (単位：人)

図書館	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
中央館	135,303	110,526	151,943	151,957	157,911
六ツ門館	68,384	85,157	86,249	91,219	92,455
田主丸館	20,188	20,932	22,110	7,001	8,753
北野館	41,919	44,276	45,890	50,551	48,835
城島館	17,859	18,139	19,644	21,096	20,265
三渚館	28,694	33,296	34,145	33,578	35,255
合 計	312,347	312,326	359,981	355,402	363,474

(各年度とも3月末現在)

■貸出冊数 (単位：冊)

図書館	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
中央館	525,627	435,390	575,731	567,597	557,237
六ツ門館	242,777	303,143	301,566	312,814	310,034
田主丸館	85,343	88,446	93,004	29,114	29,426
北野館	167,492	178,781	179,793	185,711	175,220
城島館	77,793	76,574	84,028	87,089	83,452
三渚館	131,412	147,950	154,400	149,297	154,611
合 計	1,230,444	1,230,284	1,388,522	1,331,604	1,309,980

(各年度とも3月末現在)

(2) サービスについて

① 貸出と予約サービス

【図書・視聴覚資料】

貸出冊数は、1人につき図書・雑誌合わせて10冊以内、視聴覚資料は（CD、DVDなど）3点以内、貸出期間は15日以内です。

希望図書や所蔵が無い場合は、「購入依頼」「市外の図書館から取り寄せ」ができます。所蔵資料の予約は、窓口やホームページ、館内に設置した利用者端末から可能です。また、市内の各図書館で受取（視聴覚資料を除く）、返却が可能です。

【電子書籍】

令和6年度は、久留米広域連携中枢都市圏（久留米市、大川市、小都市、うきは市、大刀洗町、大木町）で共同運営する「くるめ広域電子図書館」を、同都市圏に居住または通勤する方を対象に、一般書・児童書・ヤングアダルト合わせて約490冊の電子書籍を追加しながら運用しました。貸出・予約とも一人につき各3冊まで、貸出期間は15日以内です。

■ 令和6年度電子図書館状況

コンテンツ数	貸出数	利用者数	満足度
11,593	17,313 (29,570)	4,125 (7,198)	3.5

※かっこ書きの数値は、久留米広域連携中枢都市圏全体での数値

※満足度は、2月15日から3月31日の間に実施したアンケートにおける5段階評価の平均値（有効回答109件。別添資料参照）

② レファレンスサービス（調べ物サービス）

窓口・電話・文書・メール・図書館HP質問内容登録フォームから寄せられる、様々な調べ物について、司書職員がサポートし、情報や資料の提供を行っています。

■ 令和6年度レファレンス件数

サービス内容	一般	郷土	計
件数	595	640	1,235

③ 児童サービス

主な取組みは次のとおりです。

○ おはなし会

定例おはなし会の他、赤ちゃんおはなし会など年齢別おはなし会、クリスマス会・七夕会をはじめ季節のおはなし会をボランティアの皆さんや職員で実施しました。また、中央図書館において聴覚教育支援NPO法人と協働で「しゅわしゅわえほん（手話のおはなし会とワークショップ）」を開催しました。

○本の福袋（本のわくわくセット・本のお楽しみセットなど）

中が見えない形で、年齢別テーマ別おすすめ本セットの貸出を各図書館で行いました。中央図書館では子どもたち（小学生）が選書をした37セットを含む145セットの貸出を行いました。

○一日図書館員

小学生が図書館の仕事を体験することで、図書館をより身近に感じてもらい、今後の図書館利用につなげていくという目的で、各図書館で実施しました。

○児童文学講演会（中央図書館）

市民に広く児童文学の世界を親しんでもらうきっかけをつくるため、講師に絵本作家の田島征三さんをお迎えし、『田島征三講演会』を開催しました。

○ミニビブリオバトル（中央図書館）

中高生大会（発表者は中高生、観戦者は一般）を開催しました。

○ブックトーク（中央図書館）

ブックトーク研究会と連携し、「ブックトークをきいてみよう」（7月と12月）を実施しました。

○赤ちゃん絵本読み聞かせ入門講座（北野図書館）

赤ちゃん絵本やわらべうたを楽しみながら、おはなしボランティアの養成を図る目的で絵本コンシェルジュの方を講師に「赤ちゃん絵本とわらべうたで遊びましょう」というタイトルで、実施しました。

④ブックスタート

新型コロナ感染拡大期以降実施していた予約制を廃止しましたが、開催日に参加できない対象者は、個別に予約を受け付ける体制を残しました。また、1歳を過ぎて未参加の家庭に再通知を開始しました。配布絵本については参加者が選択できるよう変更しました。

別途、ボランティアの養成講座（全5回）を実施しました。

■ブックスタート参加者数の推移

	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
参加数（組）	1,396	1,298	1,268	1,162	1,274
参加率（%）	52.7	51.9	51.4	49.3	58.5

⑤学校及び学校図書館との連携

子どもたちにとって身近な読書環境である学校及び学校図書館と連携し、次のとおり実施しました。

○学校への支援

団体貸出及び図書館から距離のある小学校 12 校への移動図書館巡回による読書支援、また希望する学校に対して教育委員会送達便を利用した特別貸出による授業支援を行いました。令和7年4月の小学校統合で学校図書館が一時的に利用できなくな

った青峰小には団体貸出で 300 冊を 1 回貸し出しました。

○学校図書館との連携

「市立図書館・学校図書館情報交換会」を 6 図書館全館で開催しました。

○合同研修会

研修会の講師には、佐賀女子短期大学名誉教授の白根恵子先生をお招きし「読書が育む力／アニメーション…楽しみながら読む力を育てる」と題した講演とワークショップを行い、市立図書館・学校図書館の司書が合同で学びました。

○職場体験・インターンシップ

職場体験は、

- ・中央図書館において附属中 3 名、櫛原中 1 名、諏訪中 2 名、良山中 2 名、
- ・北野図書館において北野小 3 名、北野中 3 名、宮ノ陣中 3 名、
- ・城島図書館において城島中 2 名、
- ・三瀧図書館において筑邦西中 4 名、城島中 2 名、荒木中 4 名、
- ・六ツ門館において城南中 2 名 を受け入れました。

インターンシップは、

- ・中央図書館において祐誠高校 1 名、
- ・三瀧図書館において三瀧高校 4 名 を受け入れました。

○読書ゆうびん（中央図書館・北野図書館）

学校図書館に設置した専用ポストに、子どもたちが本の紹介を記入した絵はがきを投函してもらい、その絵はがきを後日市立図書館内で本と一緒に展示し貸出することによって、子どもの本への関心を深めることができました。

○POP等の借用及び展示（六ツ門図書館・三瀧図書館）

本の貸出だけではなく、学校図書館の活動を市民の方に知っていただく機会となりました。

○ピースフル久商（中央図書館）

ピースフル久留米の一環として、久留米商業高校の生徒のみなさんによる絵本の読み聞かせや大型紙芝居を通じて、子どもたちが戦争や平和を考える機会となりました。

○連絡会議（中央図書館）

教育部学校教育課との連絡会議を月 1 回開催しました。

⑥利用困難者・館外サービス

○移動図書館グリーン号

搭載数は、児童書・一般書など約 3,000 冊です。図書館から離れている地域や小学校、公共施設など 34 カ所を毎月巡回しました。

■令和 6 年度移動図書館巡回数（単位：カ所）

巡回地	小学校	公共施設	その他地域等	計
巡回数	12	9	13	34

○団体貸出

小中学校や学童保育所、福祉施設、教育集会所など、地域において読書活動などを行う97団体に対し、年間約4万3千冊を貸し出しました。

■令和6年度団体貸出数

登録団体	学童保育所	学校	福祉施設	校区コミュニティ組織	その他	計
団体数	44	17	14	8	14	97

○福祉・宅配サービス

視覚障害等で一般の図書での読書が困難な方には録音図書・点字図書の無料宅配サービスや対面朗読サービスを行っています。所蔵していない録音・点字図書は、サピエ図書館を通じて全国の図書館等がアップロードした点字約27万・音訳約13万タイトルの図書を提供できるようにしています。

また、障害や高齢等により来館が困難な方には、一般図書の無料宅配サービスも行っています。

■令和6年度福祉・無料宅配サービス利用実績

利用者名	視覚障害者等福祉利用登録者	身体障害者等無料宅配利用登録者	計
利用登録者数	69	16	85
利用冊数	4,708	302	5,010

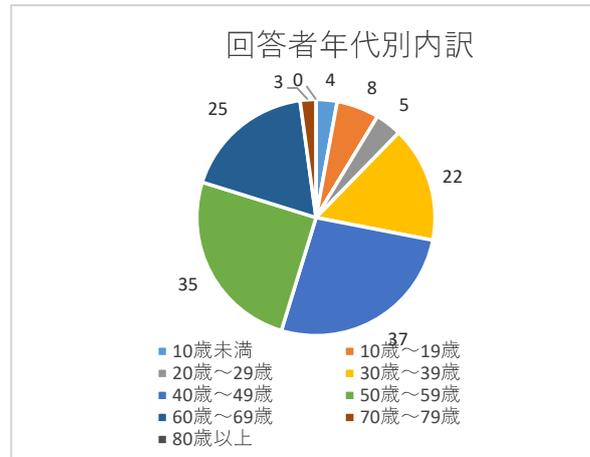
※サピエ図書館とは

視覚障害者など（視覚による表現の認識に障害のある市民を含む）に対して、点字や音訳図書などを提供する視覚障害者情報総合ネットワーク（略称『サピエ』）

令和7年2月15日～3月31日「くろめ広域電子図書館」利用アンケート集計

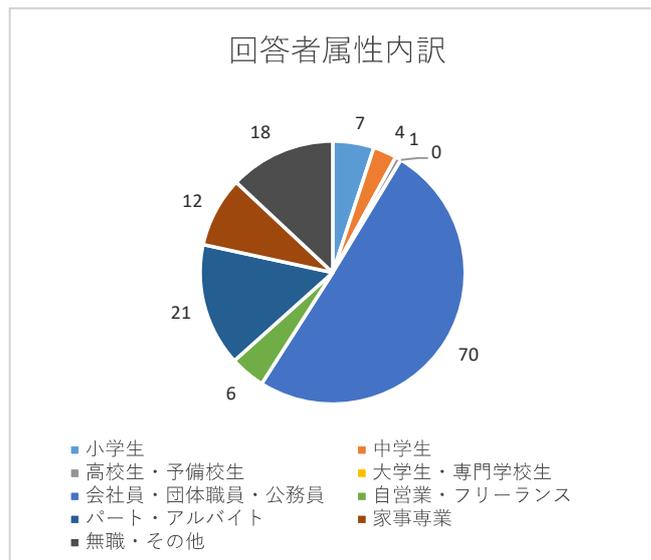
【1】年齢

	(人)	(割合)
10歳未満	4	3%
10～19歳	8	6%
20～29歳	5	4%
30～39歳	22	16%
40～49歳	37	27%
50～59歳	35	25%
60～69歳	25	18%
70～79歳	3	2%
80歳以上	0	0%
計	139	



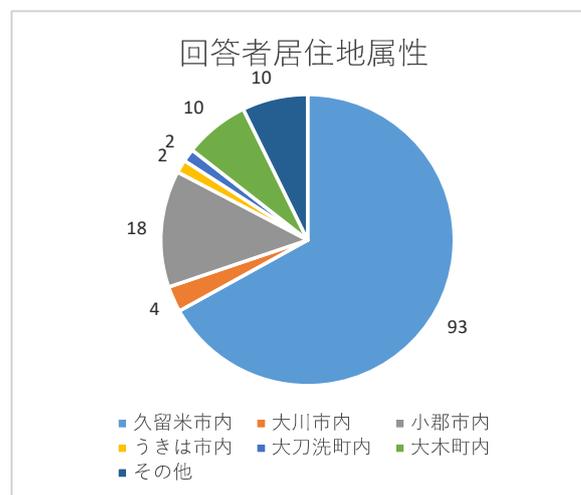
【2】職業

	(人)	(割合)
小学生	7	5%
中学生	4	3%
高校生・予備校生	1	1%
大学生	0	0%
会社員・団体職員・公務員	70	50%
自営業・フリーランス	6	4%
パート	21	15%
家事専業	12	9%
無職・その他	18	13%
計	139	



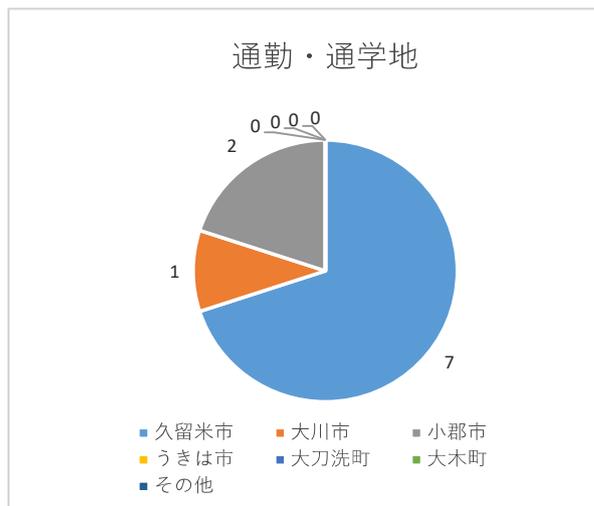
【3】お住まい

	(人)	(割合)
久留米市	93	67%
大川市	4	3%
小郡市	18	13%
うきは市	2	1%
大刀洗町	2	1%
大木町	10	7%
他	10	7%
計	139	



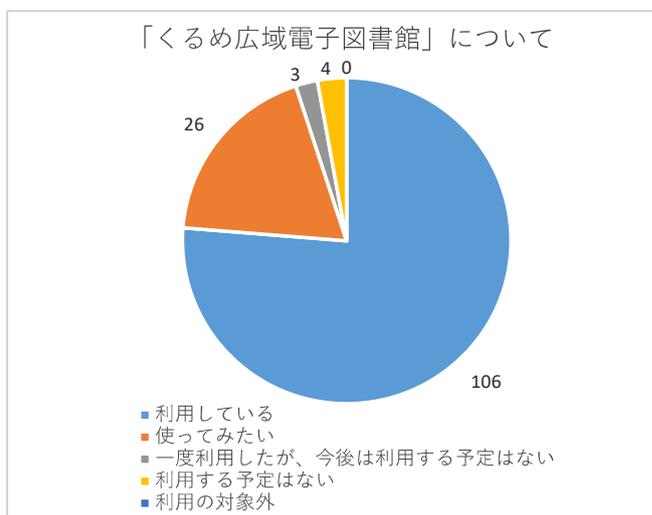
【4】通勤・通学地について ※設問3でお住まい「その他」で回答した人のみ

	(人)	(割合)
久留米市	7	70%
大川市	1	10%
小郡市	2	20%
うきは市	0	0%
大刀洗町	0	0%
大木町	0	0%
他	0	0%
計	10	



【5】「くるめ広域電子図書館」について

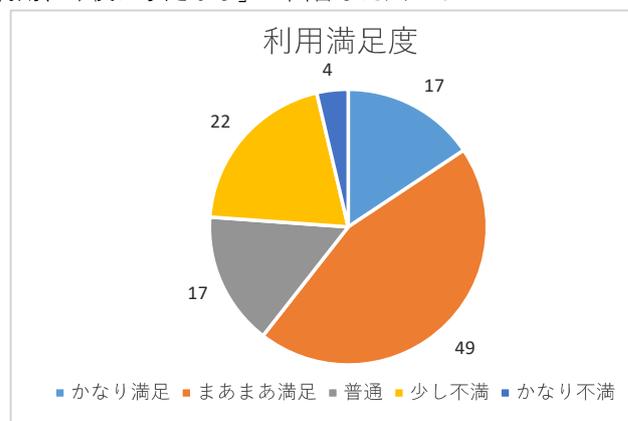
	(人)	(割合)
利用している	106	76%
使ってみたい	26	19%
一度利用、今後は 予定なし	3	2%
利用する予定なし	4	3%
利用対象外	0	0%
計	139	



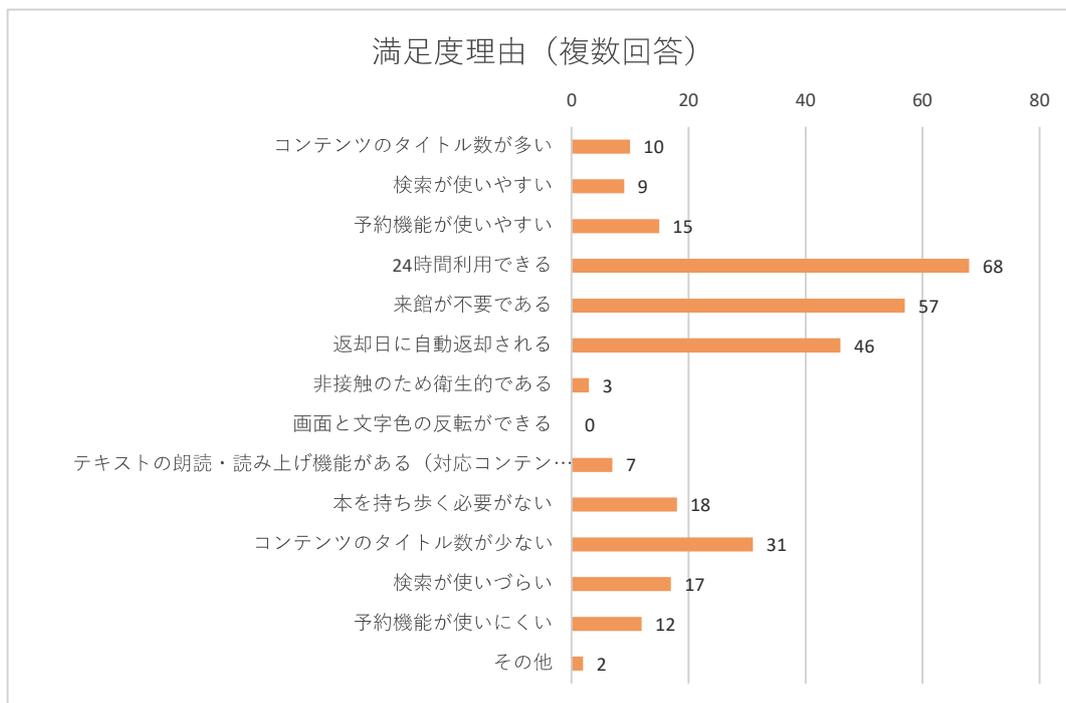
【6】「くるめ広域電子図書館」の満足度について

※設問5で「利用している・一度利用、今後は予定なし」と回答した人のみ

	(人)	(割合)
かなり満足	17	16%
まあまあ満足	49	45%
普通	17	16%
少し不満	22	20%
かなり不満	4	4%
計	109	



【7】満足度を判定した理由(複数回答可)



※【8】その他の理由

- ・予約本が借りれるようになってからもメール連絡が来ないため、取り置き期限がきて読めずにかなり悲しかった。
- ・読み上げ機能が使いやすい。

【9】くるめ広域電子図書館のご利用に関しての意見

①機能について

- ・サイトをダークモードで見た時、ボタンの色と文字色が白なので、何のボタンなのか判別しづらい
- ・電子書籍のはずなのに、他の人が借りている間は読めないことが不便。
- ・本の感想コメント機能、どの図書館なら紙本で所蔵があるか表示する機能があると良い。
- ・予約した資料が届くタイミングがわからないため、メールで通知がほしい。
予約本の順番が来たのに、気づかず逃したことがある。メールで通知はぜひ出来るようにしてほしい。
ウェブブラウザ媒体なので難しいと思うが、ポップアップ通知等、何かお知らせがあればいい。
通信料が気になるため常に電子図書館を確認できない。
- ・自動的に返却される日が近づいた時に、メールで教えて欲しい。
- ・読み上げ機能がオーディオブック並みに聞き取りやすくなると聞く本として使いやすい。
- ・リクエスト機能をつけてほしい。
- ・予約や貸し出しの件数をもう少し多く (5冊など) になると嬉しい。
- ・お気に入り機能の件数が増えると嬉しい。
- ・PC利用。ビューワー見開き表示のものは拡大機能を使っても文字が小さすぎて読めないことが多い。
マウスカーソルに拡大鏡の機能をもたせてほしい。
- ・今まで借りた本の履歴を見たい。
- ・音声コンテンツはチャプターごとに操作しないといけないため使い辛い。
- ・出来ればアプリでの提供もお願いしたい。
- ・検索機能で漢字とひらがなだと別物と認識して見たい作品に出会えない。
- ・読みたい書籍の分類が探しづらい。読みたい分類、書籍にたどり着きづらい。

- ・シリーズ物をまとめて表示できると良い。

②周知不足

- ・オーディオブックについて、早聞き等、読み上げ速度が変更できるとなると良い。
- ・字が小さい。

③コンテンツ数不足

- ・書籍をもっと増やしてほしい。ジャンル問わずに、数が増えてこそだと思う。
- ・旅行ガイドや専門書のタイトル数がより増えていくことを期待している。
- ・歴史、漢詩等に関係する書籍があれば嬉しい。
- ・読み上げ機能に対応したコンテンツ増加。
- ・マイナーな本が多いので有名どころの本を増やして欲しい。
- ・雑誌をもっと増やしてほしい。
- ・ガイド本の充実希望。
- ・特に角川つばさ文庫の小説が好きなのでそういう本が追加されると嬉しい。
- ・期待していたほど読みたい本が見つからず、電子図書館で読める本が限られているのが少し残念。
- ・読み上げ機能付コンテンツがたくさんあると家事や支度中など隙間時間に本と触れることが出来る。
- ・タイトルが女性向け、子供向けが多いため成人男性としては読みたいものが少ない。
- ・子供向けの書籍が多いので、大人向けの書籍を増やして欲しい。
- ・読みたい本は必ずない。9割くらいは検索にヒットしない。一体なにがあるのだろうと思う。
- ・いろいろな本があって嬉しい。
- ・小説やエッセイ、育児書だけではなく、料理本など幅広いジャンルがあるのが嬉しい。

④その他

- ・どこでも読めるので助かっている。
- ・借りた本が開かないことが多い。時間を置いたら開けるが、読みたいときに読めないことは不便。
- ・まず新刊の本の紹介を見て、気になる本を借りている。
日頃は読まない分野の本も知ることができて借りるのは、楽しいです。
- ・いつも休み時間に見ている。いろいろな本が見れて、とても楽しい。
- ・現在子育て中。夜間授乳の際、疲労困憊で睡魔と闘いながら何とか耐えていられるのは電子図書館のおかげ。利用出来るようにしてもらい感謝。
- ・スマホでの利用がメインなので、レシピ等は見にくいガイドブックは今度試してみたい。
- ・最初は難しかった係の人に教えてもらった。まだまだ難しい。
- ・探したい本をいつでも検索したり、借りたりすることができ、返却も簡単でとても便利。
- ・電車内等の利用がとても便利。
- ・交通手段が厳しい現在、自宅に居て借りられるのは非常に便利。
- ・図書館・図書室に行って、紙の本を読んだり借りたりするのが楽しみだから電子図書館の必要性を今はあまり感じないが、もし来館困難な事情が生じたら、電子図書館がありがたいと感じるに違いない

令和7年度

久留米市立図書館 運営方針及び事業スケジュール

目 次

1	運営方針	<u>1</u>
2	事業スケジュール	<u>2</u>

令和7年度 久留米市立図書館 運営方針

久留米市立図書館では、市民の教育と文化の発展に寄与するため、市民の学びと情報の拠点として、多様な図書資料や情報を収集・提供し、市民が自ら学ぶ気風の醸成、地域文化の継承・発展に貢献します。

地域館では地域の特色を反映した様々な図書資料・情報を収集・保存し、利用者の読書ニーズに対応できるように、中央図書館及び図書施設の連携を図ります。

小中学生の不読率を改善するため、久留米市子どもの読書活動推進計画に基づき、家読の推進や市立図書館・学校図書館情報交換会の開催など様々な施策に取り組みます。

各種図書館事業を推進するため、図書館ボランティアを育成し継続した支援を行うことにより、図書館サービスの充実に努めます。

障害の有無にかかわらず全ての利用者が等しく読書の機会を恵沢を受けられるように読書バリアフリー法を踏まえた福祉サービスの提供や、来館が困難な方等へ移動図書館の運行や団体貸出サービス等の充実に図り、誰でも使いやすい図書館を目指します。

職員は、国・県等公共図書館が開催する各種研修に積極的に参加し、職員のスキルアップや技術の習得など自己研鑽に努め、新たなサービス等を研究していきます。

令和7年度の具体的な取り組みは、以下のとおりとする。

- (1) 多様な図書資料や情報を収集・提供し市民が利用しやすい図書館づくりを進める。
- (2) 田主丸地域図書サービスの充実に図り、田主丸仮出張所の拡張を行う。
- (3) 久留米市子どもの読書活動推進計画の推進、第5次計画の策定を行う。
- (4) 読書バリアフリー法を踏まえた図書サービスの推進を行う。
- (5) 安全で快適に利用できるよう、施設、設備など読書環境の整備を行う。
- (6) 文化センターエリアの協力体制を維持し、事業連携や課題解決に向けた検討を行う。

令和7年度 久留米市立図書館事業スケジュール

資料4

		2025年					2026年											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
図書館協議会							第1回会議						第2回会議			第3回会議		
中央図書館	児童室	えほんでレッツ工作! at 石橋正二郎記念館	しゅわしゅわ絵本 (手話のおはなし会と ワークショップ)				おはなしばさらか ブックトークを きいてみよう 1日図書館員 絵本のつどい	市立図書館・学校図書 館 合同研修会 絵本のつどい しゅわしゅわ絵本	ブックスタートボラン ティア養成講座 子ども わくわくセット作り 本の わくわくセット展示	児童文学講演会 市立図書館・学校図書 館情報交換会	クリスマス会 ブックトークを きいてみよう 絵本のつどい 読書ゆうびん	読書ボランティア 研修会(予定) 絵本のつどい しゅわしゅわ絵本						
	一般室口						ピースフル久商	電子図書館体験コー ナー(図書館活用講 座)						中高生向けイベント(ビ デオバトル)	健康講座			
	調査研究室											歴史講座						
	資料	本のリユースコーナー (随時)							除籍図書の再活用事業 (学童等)					特別整理期間での 蔵書点検(中央館)				
	視聴覚・ 福祉室	音訳フォロー研修12回			夏休み点字体験			点訳フォロー研修 1回目		点訳フォロー研修 2回目		福祉室交流会 点訳フォロー研修 3回目		点訳フォロー研修 4回目				
		点訳ボランティア養成講座					音訳ボランティア養成講座					ライブラリーシネマ(第2水曜日)、8月のみピースフル上映会(AM/PM2回)						
		対面朗読(随時)、無料宅配サービス(随時)																
資料展示	本屋大賞発表 (一般室) 子どもの読書週間 (児童室)	いまさら聞けない大人 のたしなみ (一般室)	農業in久留米 (一般室)	もしもの時にそなえよう (一般室)	図書館員おすすめ本 ・筑後川の水とともに (一般室)	認知症月間 (一般室)	利用者おすすめ本発表 (一般室)	子どもの人権を考える・ 女性に対する暴力をな くす運動(一般室)	クリスマス・お正月 (一般室)	芥川賞・直木賞 (一般室)	酒蔵祭り(一般室)	自殺対策強化月間 (一般室)						
六ツ門・ 地域館	六ツ門館	【春の読書週間】 春のおはなし会5/11、 ガチャ本4/25~5/20、 おすすめ本を書いてこのほ りを完成させよう!、 おはなしボランティアさんに読 んでもらった絵本の展示		本のお楽しみセットの 貸出(6/14~7/13)		市立図書館・学校図書 情報交換会(8/7) 夏のスペシャルおはなし 会(8/9)		図書館職員おすすめ の本展示		秋の読書週間		クリスマス会(12/20)	京町小・篠山小・荘島小・鳥飼小・長門石小学校、城南中・江南中学校の図書委員のおすすめ 本のPOP展示					
	田主丸	こどもの読書週間企画 子ども向け読書ビンゴ 大人向け映画会	子ども向け読書ビンゴ	七夕かざり 男女共同参画企画 大人向け映画会	七夕かざり 図書館・学校司書情報交換会	子ども向け映画会 大人向け映画会	敬老の日読書のすすめ特別展	読書週間企画 大人向け映画会 久留米女性週間特別展	本の交換会(仮称)	クリスマスおはなし会 子ども向け映画会 大人向け映画会	新書かっぱちゃんスタンプラリー (子ども~大人)	大人向け映画会	春の読書応援企画					
	北野	図書館・学校司書情報交換会 大人向け映画会	子ども向け映画会	七夕かざり 大人向け映画会 赤ちゃん絵本よみかかせ講座 ボランティア交流会	七夕かざり 子ども向け映画会	図書館マスターになろう 大人向け映画会	中学生職場体験 子ども向け映画会	秋のおはなし会 スタンプラリー YA企画(福祉) 子ども向け映画会 大人向け映画会	スタンプラリー YA企画(福祉) 子ども向け映画会 ボランティア交流会	クリスマスおはなし会 大人向け映画会	本の福祉 子ども向け映画会	おたのしみ抽選会 大人向け映画会 ボランティア代表者会議	子ども向け映画会					
	城島	新生活に向けて企画① 新学期に向けて ~小中学校国語教科書 ・掲載作品展示~ こども読書週間企画 赤ちゃんお話し会	公共図書館司書 ・学校図書館司書情報交換会 上映会関連企画 「老後に資金がありません」 多様な性 LGBTQ	「虫歯予防デー」企画 男女共同参画企画 「たなばた」企画 ~笹かざりと願いごと短冊~ 赤ちゃんお話し会	夏休み企画① たなばた会 上映会関連企画 子ども上映会 夏休み宿題応援します 高等学校インターンシップ	夏休み企画② 真夏のおはなし会 平和について考えよう 夏休みの宿題応援します 赤ちゃんお話し会	中学生職場体験 上映会関連企画 古本市 「国際アルツハイマーデー」企画 「自殺予防週間」企画	秋の読書週間企画 おすすめの本ポップ展示 もつと知ろう! 星製制度! 赤ちゃんお話し会 ハロウィン企画 小学生図書館体験学習	秋の夜長企画 スタンプラリー 上映会関連企画 ご存じですか「パープルリボン」 「オレンジリボン」キャンペーン	クリスマス会関連企画 冬休み子ども上映会 年末・年始企画① 赤ちゃんお話し会	本の福祉 上映会関連企画 年末・年始企画② 国際点字デー企画 図書館のバリアフリー	赤ちゃんお話し会 「バレンタインデー」企画 おにのおはなし 日本の伝統行事 酒蔵まつり関連企画	新生活に向けて企画① 「ホワイトデー」企画 自殺対策強化月間企画 「ミモザの日国際女性デー」企画 上映会関連企画					
	三瀬	こども読書週間企画 おすすめの本ポップ展示 こども・大人向け上映会	家族のみんなにありがとうメッ セージ企画 赤ちゃんおはなし会 ゲストティーチャー	家族のみんなにありがとうメッ セージ企画 学校司書との情報交換会 大人向け上映会	七夕お話し会 高校生インターンシップ 中学生職場体験 赤ちゃんおはなし会	こども・大人向け上映会	小学生1日図書館員 中学生職場体験 赤ちゃんおはなし会	秋の読書週間企画 大人向け上映会 司書おすすめの本ポップ展示	リサイクル古本市 赤ちゃんおはなし会	クリスマスお話し会 小中学校お勧め本ポップ展示	本の福祉 図書館バリアフリー 小中学校お勧め本ポップ展示 赤ちゃんおはなし会	こども・大人向け上映会 「バレンタインデー」企画	マナーアップキャンペーン 新生活に向けた企画 赤ちゃんおはなし会					
(各館共通)		ブックスタート・おはなし会 (随時)																
美術館 (館内にて関連図 書の展示・しおり 配布)	響きあう絵画 宮城県美術館コレクション 2/8(土)~5/11(日)	異端の奇才 ピアズリー展 5/24(土)~8/31(日)					橋口五葉のデザイン世界 9/13(土)~10/26(日)			ちくごist 深よみ 古賀春江 11/8(土)~1/18(日)			久留米市美術館 開館10周年記念展 美の新天地—石橋財団アーティゾン美術 館のいま 2/14(土)~5/24(日)					
文化センター	チュ リップ まつり	春のバラフェア	初夏の花まつり	※ミュージアムコンサート 年4回程度 ミュージアムコンサートforキッズ 年2回程度			夏祭り	くるめ 音楽祭	ミュージアム ハロウィン	アートフェスティバル	もみじまつり	ミュージアム クリスマス	梅まつり	さくら まつり	つばきまつり			

田主丸図書館仮出張所拡張によるサービス拡充について

1 概要

田主丸アリーナ内に開設中の田主丸図書館仮出張所は、資料数や閲覧席を増やすなど、図書スペースを拡張し、地域住民へのサービスの拡充を図ります。

2 サービスの拡充

(1) 資料

図書資料等を追加し、田主丸アリーナのロビー（1階）に常設します。

■追加数

項目	数量
図書資料	約4,000冊
視聴覚資料 (CD・DVD)	約800点



■全体

項目	数量
図書資料	約8,500冊
視聴覚資料 (CD・DVD)	約1,200点

(2) 閲覧コーナー

ロビーに閲覧席を追加し、図書資料や新聞・雑誌を閲覧できるスペースを拡張します。

■追加数

項目	数量
閲覧席	8席



■全体

項目	数量
閲覧席	16席

(3) その他

仮出張所内には、インターネット閲覧用端末機（1台）を設置します。インターネットを活用した調べものや電子図書館の閲覧にもご利用いただけます。

また、施設内に閉架書庫及び作業用スペースを1室設置します。

3 休館

図書資料の集積作業や書架の配置替え等のため、以下の期間は、仮出張所を休館します。

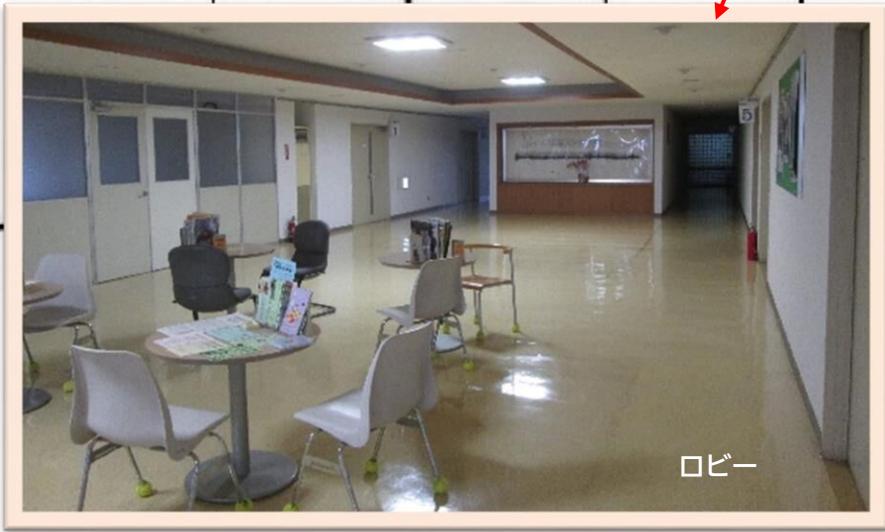
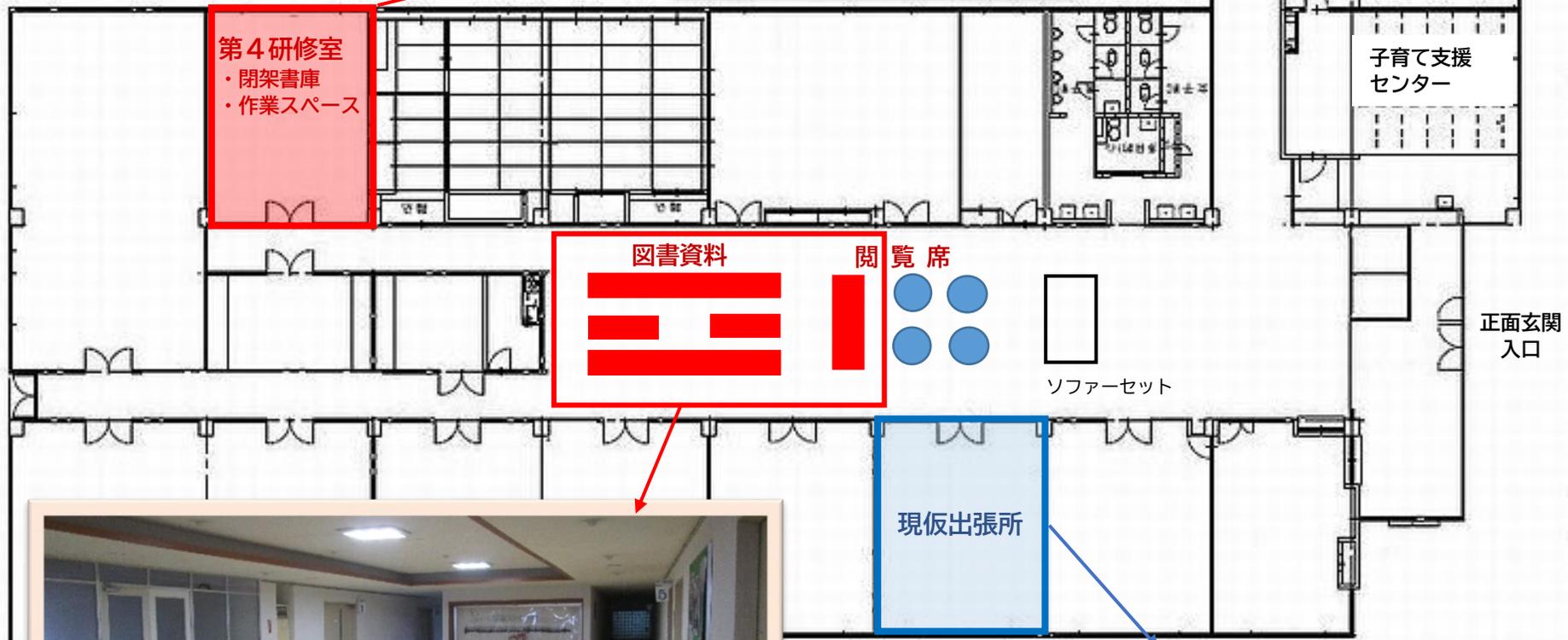
- ・休館日：8月25日（月）～9月8日（月）

4 利用開始

- ・9月9日（火） 10:00～

■ 田主丸アリーナ 1F

※朱書 拡充部分



- ロビー
- ・図書資料 約4,000冊
- ・閲覧席 16席



田主丸図書館仮出張所 リニューアルオープン!



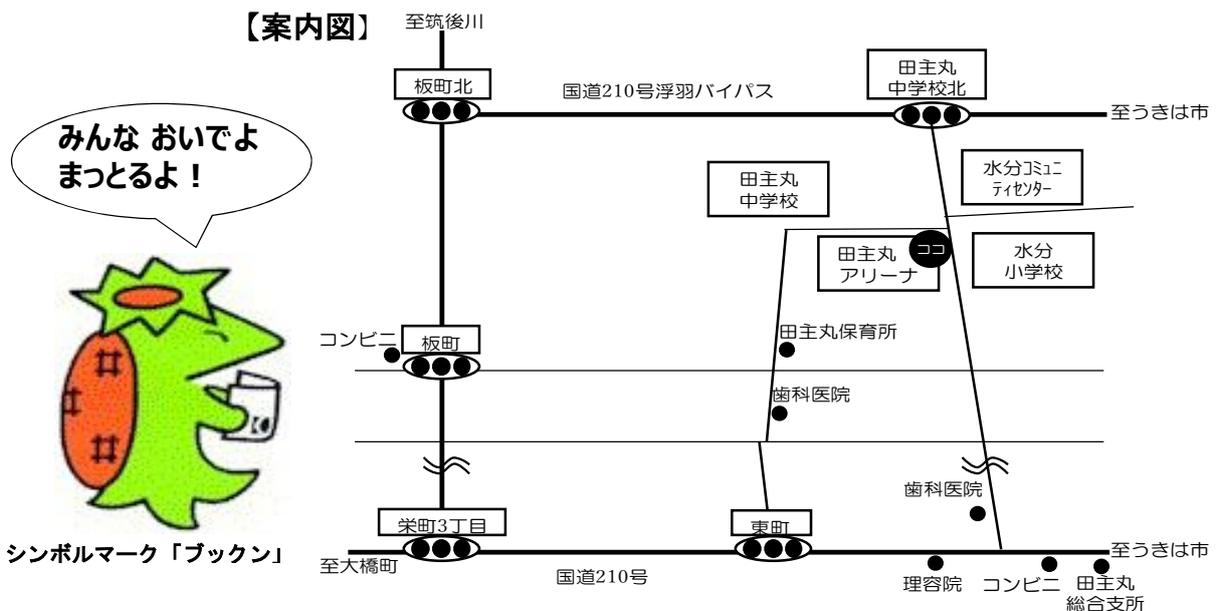
田主丸アリーナ内に開設中の田主丸図書館仮出張所は、資料数や閲覧席を増やし、リニューアルオープンします!

日時 9月9日(火) 10時～

【田主丸図書館仮出張所】

- 所在地 田主丸アリーナ内(田主丸町常盤1111-1)
- 開館時間 10時～18時
- 休館日 毎週月曜日、毎月第4木曜日、年末年始、特別整理期間
- その他

- ・ 図書資料の集積や書架の配置替え作業等のため、8月25日(月)～9月8日(月)は休館します。



～くらしのなかに図書館を～

久留米市立中央図書館

839-0862 久留米市野中町970-1
TEL 0942-38-7116 FAX 0942-38-7183

田主丸図書館仮出張所

839-1232 久留米市田主丸町常盤1111-1 田主丸アリーナ内
TEL 0943-73-4031 FAX 0943-74-4041

第5次久留米市子どもの読書活動推進計画の策定について

1. 策定の目的

令和7年度に第4次計画が最終年度を迎えるため、同年度中に次期計画（第5次）を策定する。策定にあたっては、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、久留米市における子どもの読書活動推進のための総合的な施策を策定することによって、子どもたちがさまざまな場所で本に出会い、読書を通して心豊かな生活を送ることができるよう読書環境の整備を行うことを目的とする。

2. 計画の位置付け

「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項を根拠とし、国の「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」、「福岡県子ども読書推進計画（第四次）」や「久留米市総合計画」「久留米市教育振興プラン」など関連する施策との整合性を図り、久留米市における子どもの読書活動推進に関する総合的な指針として定める。

3. 計画の対象

久留米市におけるおおむね18歳以下の子どもの読書活動の推進のための方策を対象とする。

4. 計画の期間

令和8（2026）年度～令和12（2030）年度の5か年間

5. 策定体制

（1）庁内の計画策定体制

①調整会議

久留米市として計画の理念・意義などを共有化し、関係施策との調整及び庁内での協力体制を確保するため、関係部局の課長により構成する調整会議を設ける。

②ワーキンググループ

子どもの読書活動推進にかかわる関係部局の職員により構成し、計画の具体的検討及び関係施策の調整を行う。

（2）図書館協議会

学校教育・社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者などにより構成している図書館協議会において、計画を審議する。

6. 計画案骨子

（1）子ども読書活動推進の意義

（2）計画策定の基本的な考え方

①第4次計画の成果と課題

②第5次計画の目標

（3）計画推進のための施策（家庭・地域、幼稚園・保育園・認定こども園、学校・図書館）

【令和7年度】第5次子どもの読書活動推進計画策定スケジュール

計画期間:R8(2026)年度～R12(2030)年度

策定スケジュール

【R7年度】	
4月	庁内体制(調整会議・ワーキンググループ)就任・選出依頼 第1回調整会議(計画概要・第5次計画スケジュール説明)
5月	校長会にて「子どもの読書についてのアンケート」依頼 第1回ワーキンググループ会議 (計画概要・第5次計画スケジュール・アンケート説明) 各課へ「第4次計画施策表」の進捗状況及び計画評価・課題の作成依頼
6月	上旬:各学校でアンケート実施 下旬:アンケート集約
7月	第2回ワーキンググループ会議(アンケート結果報告・第4次計画の総括)
8月	第2回調整会議(アンケート結果報告・第4次計画の総括) 第1回久留米市立図書館協議会(計画概要説明・アンケート結果報告) 教育民生常任委員会・教育委員会(アンケート結果報告)
9月	—
10月	第3回ワーキンググループ会議(第5次計画案の検討)
11月	第2回久留米市立図書館協議会(第5次計画案の審議) 第4回ワーキンググループ会議(第5次計画案の検討)
12月	第3回調整会議(パブコメ案の説明) 教育民生常任委員会・教育委員会(パブコメ案の説明)
1月	パブコメ実施(1ヶ月ほど)
2月	パブコメ意見集約 第5回ワーキンググループ会議(パブコメの検討) 第3回久留米市立図書館協議会(パブコメ結果報告と原案審議)
3月	第4回調整会議(パブコメを踏まえた原案説明) 教育民生常任委員会・教育委員会(パブコメを踏まえた原案説明) 計画策定(完成)

『子どもの読書活動に関するアンケート調査』 結果報告



図書館シンボルマーク
「ブッケン」

市民文化部中央図書館

令和7年8月

目次

1	調査の概要	1
2	アンケート結果からの子どもの読書の現状	2
	(1) 読書量について	2
	(2) 不読率について	2
	(3) 本を読むのが好きな割合とその理由	4
	(4) 本を読むのが嫌いな割合とその理由	5
	(5) 本をどのようにして用意しているか	7
	(6) 本を読むことについてどう思うか	9
	(7) どうすれば今以上に多くの本を読むようになるか	11
	(8) 1日のテレビ、ゲームや動画の視聴時間について	12
	(9) 電子書籍について	13
3	保護者へのアンケート結果	15
	(1) 子どもが読書をすることは大切だと思うか	15
	(2) 自分の子どもに読み聞かせの経験はあるか	15
	(3) 読み聞かせを始めたきっかけ	15
	(4) 読み聞かせをすることで子どもはどのように変化したか	16
	(5) 読み聞かせの本は主にどうやって用意しているか	16
	(6) 保護者自身は本を読むことは好きか	16
	(7) 本を読むのが好きになった理由	17
	(8) 本を読むのが嫌いになった理由	17
	(9) どうすれば子どもたちがもっと本を読むようになると思うか	17
	(10) ブックスタートに参加したか	18
	(資料等)	
	○ アンケート調査票	19

1 調査の概要

本調査は、児童・生徒や保護者を対象に、日常の子どもの読書活動の状況を把握し、「第5次久留米市子どもの読書活動推進計画」策定の基礎資料とすることを目的に実施したものです。

今回は電子アンケートで実施しました。児童・生徒は一人一台端末から回答することで、負担の軽減、時間の短縮を図ることができました。これまでは、各学校学年1クラスを選定し回答をお願いしていましたが、全クラス対象となったため、今までより大幅に回答者数が増え、より実態に近いアンケートの結果になったと思われます。

(1) アンケート内容.....家庭や学校等での読書活動の現状

(2) 時期.....令和7年6月2日（月）～20日（金）

(3) 方法.....「Google フォーム」を活用した匿名かつ任意回答による調査データを集計

(4) 対象者

①児童・生徒

➤ 市立小学校（4・5・6年生）

.....7,848人（回答4,954人 63.1%）

➤ 市立中学校（全学年）・特別支援学校（中学部）

.....7,475人（回答5,682人 76.0%）

➤ 市立高校（全学年）・特別支援学校（高等部）

.....1,559人（回答1,228人 78.8%）

②保護者

➤ 市立小学校（1・2・3年生）、特別支援学校（小学部）

.....7,405人（回答3,394人 45.8%）

2 アンケート結果からの子どもの読書の現状

今回を含め、過去5回の「子どもの読書活動推進計画」策定時に実施したアンケート結果は、以下のとおりです。

読書量・不読率の推移（久留米市）

項目	区分	H18年度	H23年度	H28年度	R1年度	R7年度	全国平均 (R6年度)
1カ月の読書量	小学生	6.4冊	6.1冊	6.8冊	6.2冊	8.6冊	13.8冊
	中学生	2.2冊	2.8冊	3.0冊	3.4冊	3.7冊	4.1冊
	高校生	1.7冊	2.0冊	2.2冊	2.1冊	1.7冊	1.7冊
1カ月に1冊も本を読まなかった割合 (不読率)	小学生	3.1%	3.0%	3.4%	6.0%	11.5%	8.5%
	中学生	26.5%	23.5%	20.2%	20.3%	27.5%	23.4%
	高校生	16.9%	12.7%	11.8%	18.6%	18.5%	48.3%

※小学生は4～6年生

※全国平均は「令和6年第69回全国学校読書調査」から引用（主催：全国学校図書館協議会）

（1）1カ月の読書量

★1カ月当りの読書量の特徴★

- 小学生の読書量は8.6冊で、前回調査（6.2冊）より2.4冊増加
- 中学生の読書量は3.7冊で、前回調査（3.4冊）より0.3冊増加
- 高校生の読書量は1.7冊で、前回調査（2.1冊）より0.4冊減少

- ・久留米市の小中学生の読書量は、前回に比べ増加しています。高校生の読書量は、微減となっています。
- ・全国平均は、小学生が13.8冊、中学生が4.1冊、高校生が1.7冊となっています。市と全国平均を比較してみると、小学生では大きく差が開いていますが、中学生では少しずつ差が縮まっており、高校生では同じ冊数となっています。
- ・学校段階が上がるにつれて全国平均に近づいています。

（2）1カ月に1冊も本を読まなかった割合（不読率）

★不読率の特徴★

- 小学生の不読率は11.5%で前回調査（6.2%）より5.3%高い
- 中学生の不読率は27.5%で前回調査（20.3%）より7.2%高い
- 高校生の不読率は18.5%で前回調査（18.6%）より0.1%低い

- ・久留米市では不読率が小中学生ともに上昇し、高校生は横ばいとなっています。
- ・全国平均は、小学生8.5%、中学生23.4%、高校生48.3%と学校段階が進むにつれ高くなる傾向にあります。
- ・市と全国平均を比較してみると、市の方が小学生では3%高く、中学生でも4.1%高くなっていますが、高校生は逆に29.8%と低くなっています。

(参考) 不読率について

■国の計画では

第5次子ども読書活動推進基本計画では「高校生の不読率は、小学生、中学生に比して、高い状況が続いているものの、一貫した上昇傾向にあるわけでもない。このような状況を踏まえ第四次基本計画の基本的な方針を維持し、乳幼児期から中学生までの読書習慣の形成を促すとともに、大人への過渡期にある高校生が読書の必要性を真に感じ、主体的に読書に興味・関心を持てるような取組の推進を図る必要がある」として、不読率改善目標数値は設定されていません。

■県の計画では

第4次福岡県子ども読書推進計画では「子どもがそれぞれの発達段階・個性に応じ、読書習慣を身に付け、自主的な読書活動ができるような環境を整備推進する」ことを目標に設定し、目標を達成するために不読率の改善の指標を設定しています。

県が参考としているのは「令和5年度全国学力・学習状況調査（対象：小学6年生、中学3年生）」の不読率の数値です。

全国の不読率の平均に比べ、福岡県の不読率の平均が高いため、福岡県では令和9年度に全国平均以下になるという指標を設定しています。

○不読率（全国学力・学習状況調査）

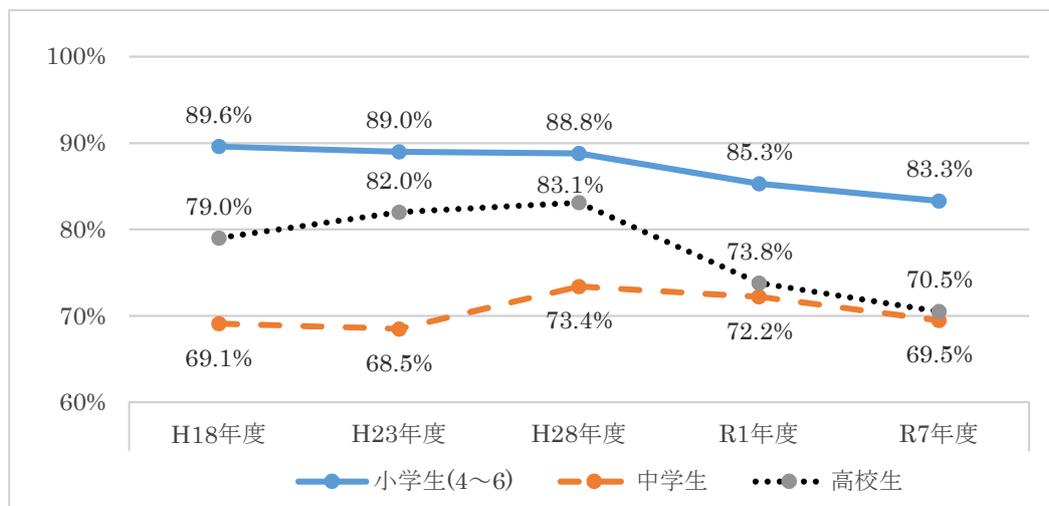
	令和5年度	令和9年度（指標）
小学校6年生	県27.4%／全国24.5%	全国平均以下
中学校3年生	県39.9%／全国36.8%	全国平均以下



出典：全国学校図書館協議会主催「令和6年第69回全国学校読書調査」

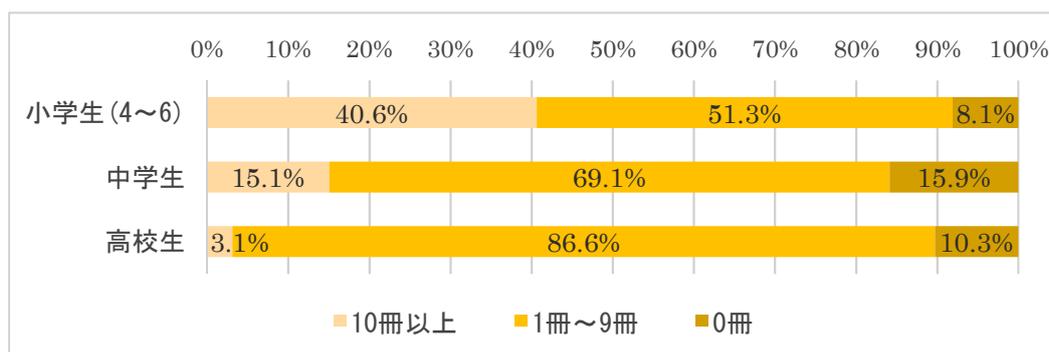
(3) 本を読むのが好きな割合とその理由

(3)-① 「本を読むのが好き・どちらかというとき」と「好き」の割合



・本を読むのが好きな小中学生、高校生の割合は、全て低下しました。

(3)-② 「本を読むのが好き・どちらかというとき」×「1カ月の読書量」

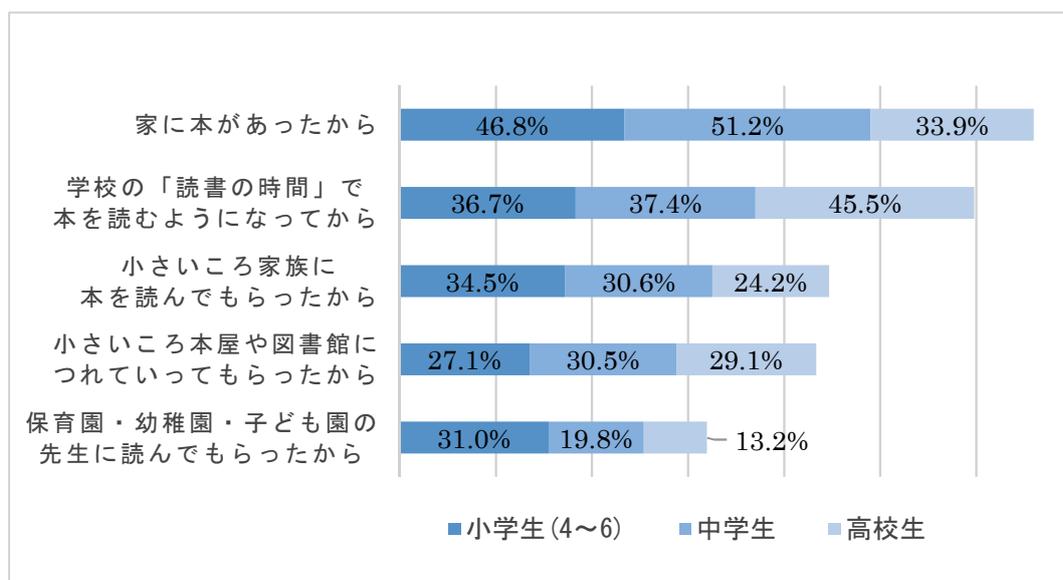


本を読むのが好き・どちらかというとき		10冊以上／月	1冊～9冊／月	0冊／月（不読）
小学生	83.3% (4,128人)	40.6% (1,677人)	51.3% (2,118人)	8.1% (333人)
中学生	69.5% (3,948人)	15.1% (595人)	69.1% (2,727人)	15.9% (626人)
高校生	70.5% (866人)	3.1% (27人)	86.6% (750人)	10.3% (89人)

■アンケート回答者のうち「本を読むのが好き・どちらかというとき」×「0冊／月（不読）」の割合

アンケート回答者		「本を読むのが好き・どちらかというとき」で「0冊／月（不読）」
小学生	4,954人	6.7% (333人)
中学生	5,682人	11.0% (626人)
高校生	1,228人	7.2% (89人)

(3)-③本を読むのが好きになった理由（複数回答可）

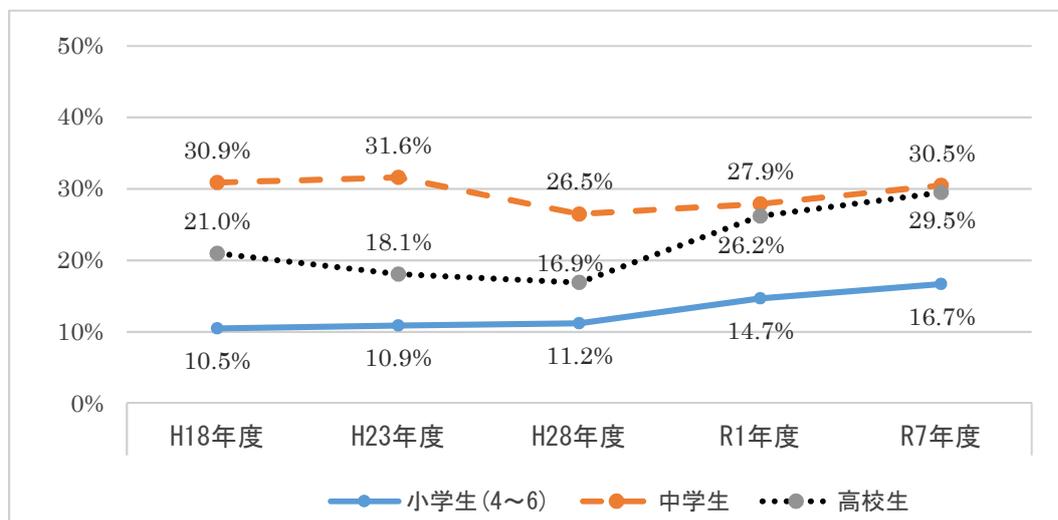


- ・小中学生の本を読むことが好きになった理由は、「家に本があったから」が最も多く、「学校の『読書の時間』で本を読むようになってから」「小さいころ家族に本を読んでもらったから」の順となっています。
- ・高校生の本を読むことが好きになった理由は、「学校の『読書の時間』で本を読むようになってから」が最も多く、「家に本があったから」「小さいころ家族に本屋や図書館につれていってもらったから」の順となっています。

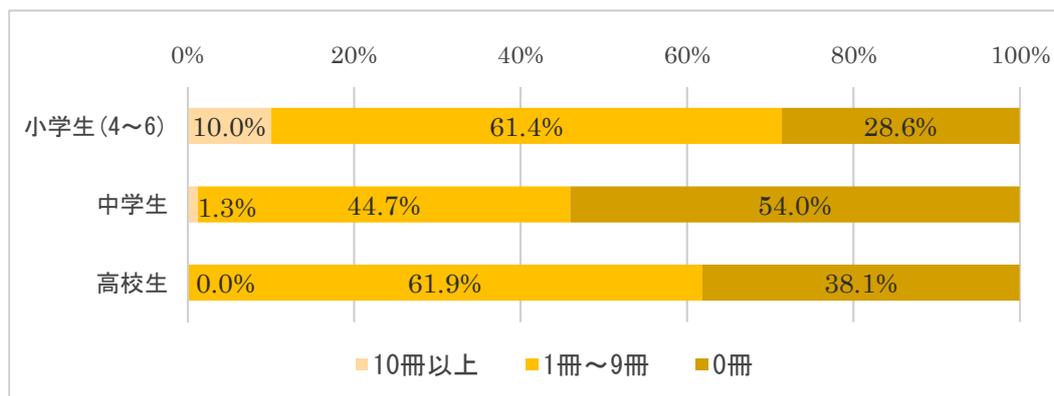
家庭や地域、学校など、子どもにとって身近な場所に本がある環境が整っていることが、子どもが本を好きになる大きな要因となることが伺えます。引き続き、家庭や地域、学校などで、読書環境を整備し、本に親しむための働きかけを行っていくことが重要です。

(4) 本を読むのが嫌いな割合とその理由

(4)-①「本を読むのが嫌い・どちらかという嫌い」の割合



(4)-②「本を読むのが嫌い・どちらかという嫌い」×「1カ月の読書量」



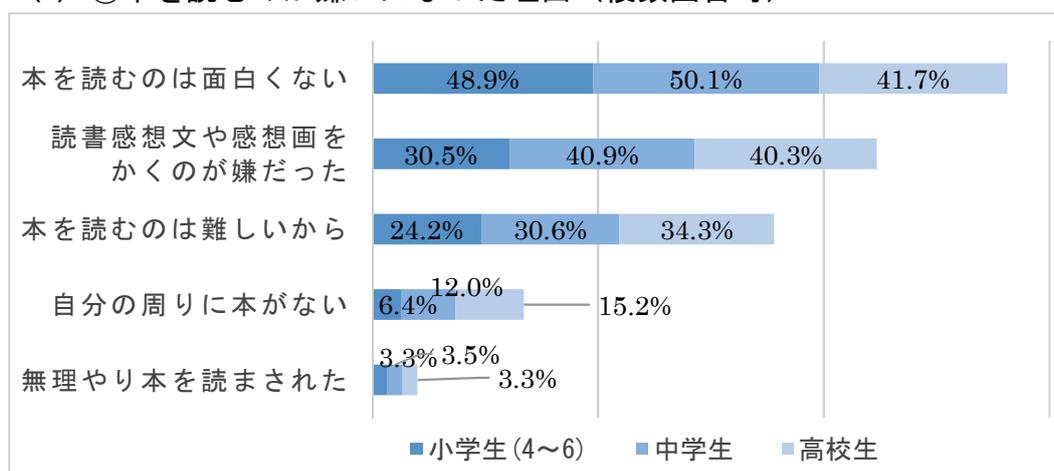
本を読むのが嫌い・どちらかという嫌い		10冊以上／月	1冊～9冊／月	0冊／月（不読）
小学生	16.7% (826人)	10.0% (83人)	61.4% (507人)	28.6% (236人)
中学生	30.5% (1,734人)	1.3% (22人)	44.7% (775人)	54.0% (937人)
高校生	29.5% (362人)	0% (0人)	61.9% (224人)	38.1% (138人)

■アンケート回答者のうち「本を読むのが嫌い・どちらかという嫌い」×「0冊／月（不読）」の割合

アンケート回答者		「本を読むのが嫌い・どちらかという嫌い」で「0冊／月（不読）」
小学生	4,954人	4.8% (236人)
中学生	5,682人	16.5% (937人)
高校生	1,228人	11.2% (138人)

小中学生、高校生の読書状況において、より実態に近い「不読人数」「不読率」の数値と考えられます。

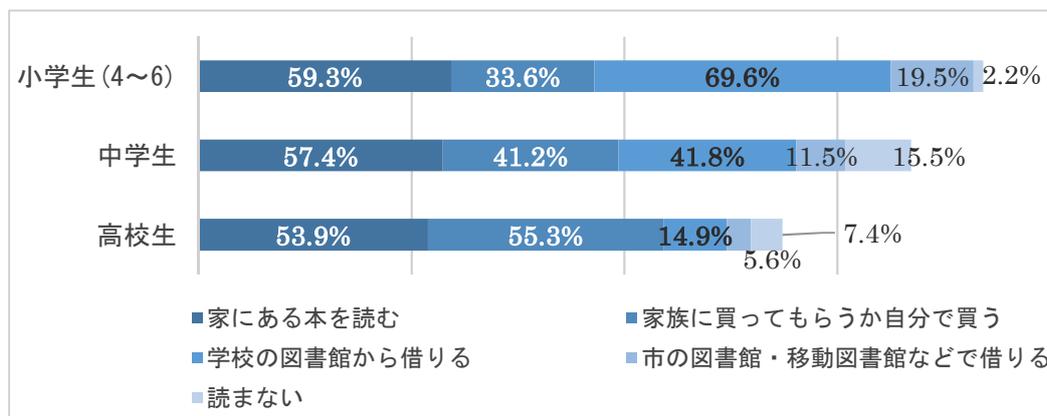
(4)-③本を読むのが嫌いになった理由（複数回答可）



- ・全体的に、本を読むのが嫌いになった理由は、「本を読むのは面白くない」が最も多く、「読書感想文や感想画をかくのが嫌だった」「本を読むのは難しいから」の順となっています。
- ・今までの読書経験を通して、面白いと思える本との出会いが少なかったことや、難しい本を選んで、本に苦手意識を感じるようになったことなどが伺えます。
- ・その他の回答として、「興味がない」「本以外に面白いものがある」「本を読む時間がない」「本を読む時間を他の時間に当てたい」なども寄せられました。

(5) 本をどのようにして用意しているか

(5)-①本をどのようにして用意しているか（複数回答可）

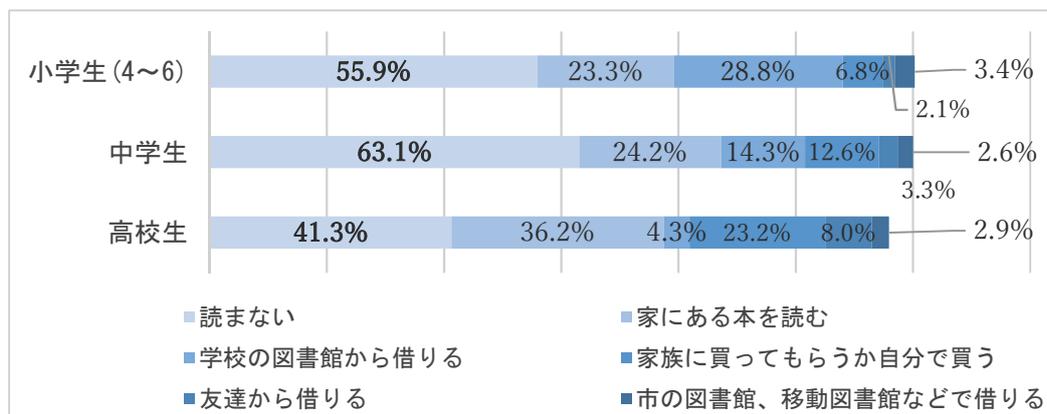


- ・小学生は、「学校の図書館から借りる」が最も多く、「家にある本を読む」「家族に買ってもらうか自分で買う」「市の図書館、移動図書館などで借りる」の順となっています。
- ・中学生は、「家にある本を読む」が最も多く、「学校の図書館から借りる」「家族に買ってもらうか自分で買う」の順となっています。
- ・高校生は、「家族に買ってもらうか自分で買う」が最も多く、「家にある本を読む」「学校の図書館から借りる」の順となっています。

本を用意する手段として、小学生は70%近くが「学校の図書館から借りる」と回答しています。中学・高校と学年が上がるにつれ、回答割合は低下していますが、子どもの読書活動を推進していく上で、学校図書館の蔵書の充実は期待されていると考えられます。



(5)-②「本を読むのが嫌い・どちらかという嫌い」×「1カ月の読書量0冊」のうち「本をどのようにして用意しているか」の割合



■「本を読むのが嫌い・どちらかという嫌い」×「1カ月の読書量0冊」のうち「本をどのようにして用意しているか」

「本を読むのが嫌い・どちらかという嫌い」で「1カ月の読書量0冊」		「読まない」
小学生	236人	132人 (55.9%)
中学生	937人	591人 (63.1%)
高校生	138人	57人 (41.3%)

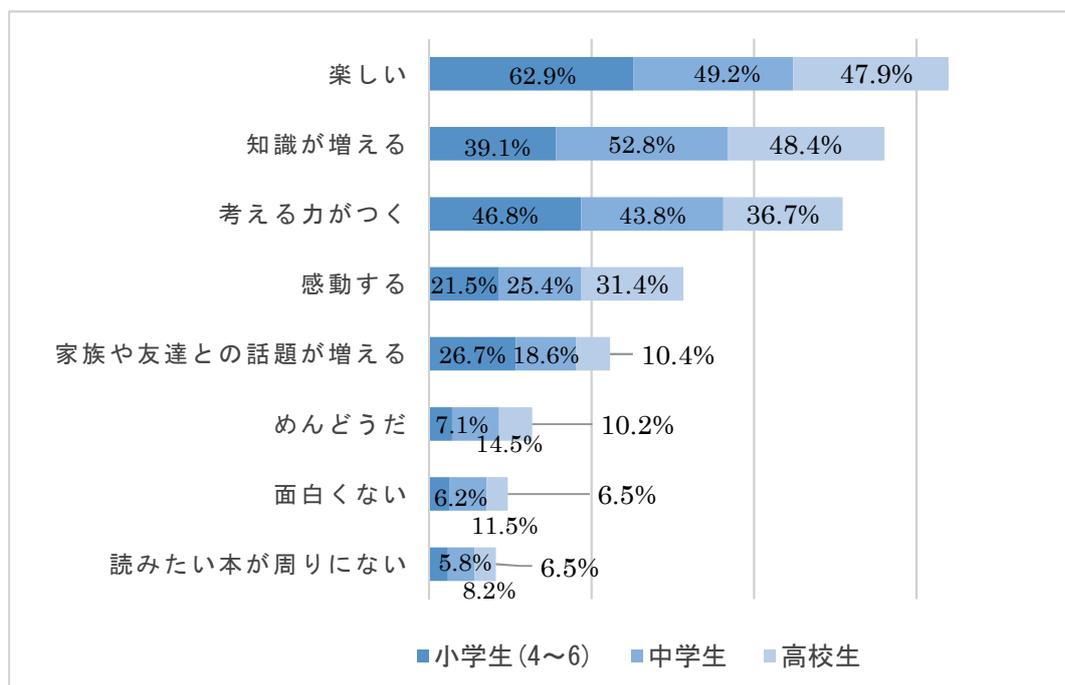
- ・「本を読むのが嫌い・どちらかという嫌い」で「0冊/月（不読）」のうち、小学生132人（55.9%）、中学生591人（63.1%）、高校生57人（41.3%）が「読まない」を選択しています。

「本を読むのが嫌い・どちらかという嫌い」×「1カ月の読書量0冊」で、「本をどのようにして用意しているか」という問いに「読まない」を選択した小中学生、高校生は、特に本への関心の低さが伺えます。



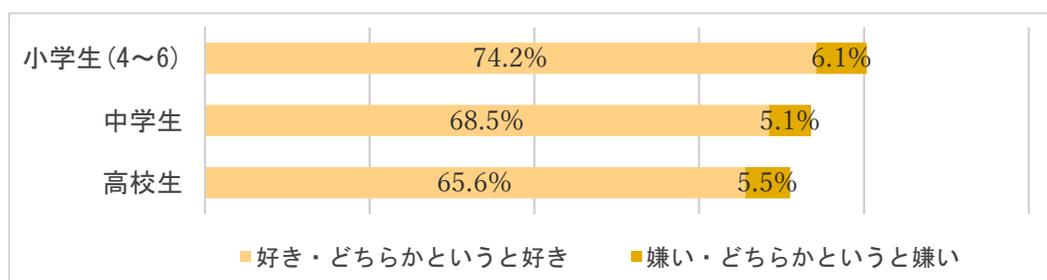
(6) 本を読むことについてどう思うか (複数回答可)

(6)-①



・小学生は、「楽しい」が最も多く、「考える力がつく」「知識が増える（物知りになる）」の順、中高生は「知識が増える」が最も多く、「楽しい」「考える力がつく」の順でした。

(6)-② 「本を読むのが好き・どちらかというとき」と「本を読むのが嫌い・どちらかというとき」で本を読むことが「楽しい」を選択した割合



■ 「本を読むのが好き・どちらかというとき」 × 「楽しい」

	「本を読むのが好き・どちらかというとき」	「楽しい」
小学生	4,128 人	3,065 人 (74.2%)
中学生	3,948 人	2,704 人 (68.5%)
高校生	866 人	568 人 (65.6%)

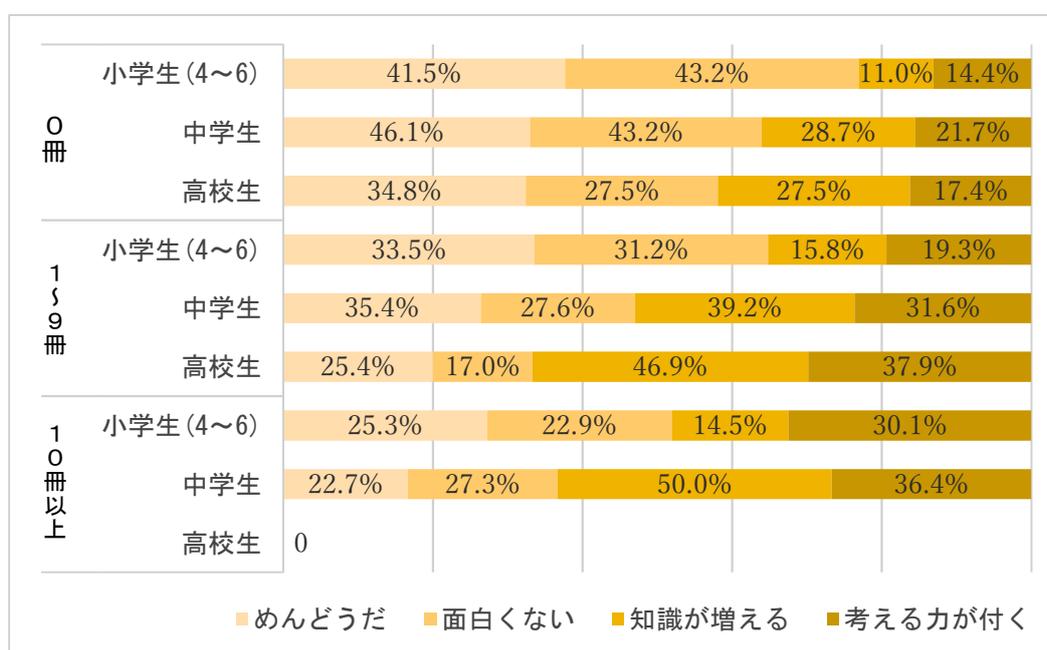
・「本を読むのが好き・どちらかというとき」と回答した小学生 4,128 人中、「楽しい」を選択した小学生は 3,065 人 (74.2%)、中学生は 3,948 人中、2,704 人 (68.5%)、高校生は 866 人中、568 人 (65.6%) でした。

■ 「本を読むのが嫌い・どちらかという嫌い」 × 「楽しい」

「本を読むのが嫌い・どちらかという嫌い」		「楽しい」
小学生	826 人	50 人 (6.1%)
中学生	1,734 人	89 人 (5.1%)
高校生	362 人	20 人 (5.5%)

- ・「本を読むのが嫌い・どちらかという嫌い」と回答したうち、本を読むのは「楽しい」を選択した小学生は 826 人中、50 人 (6.1%)、中学生は 1,734 人中、89 人 (5.1%)、高校生は 362 人中、20 人 (5.5%) となっています。

(6)-③ 「本を読むのが嫌い・どちらかという嫌い」 × 「1カ月の読書量別」で「本を読むことについてどう思うか」の割合

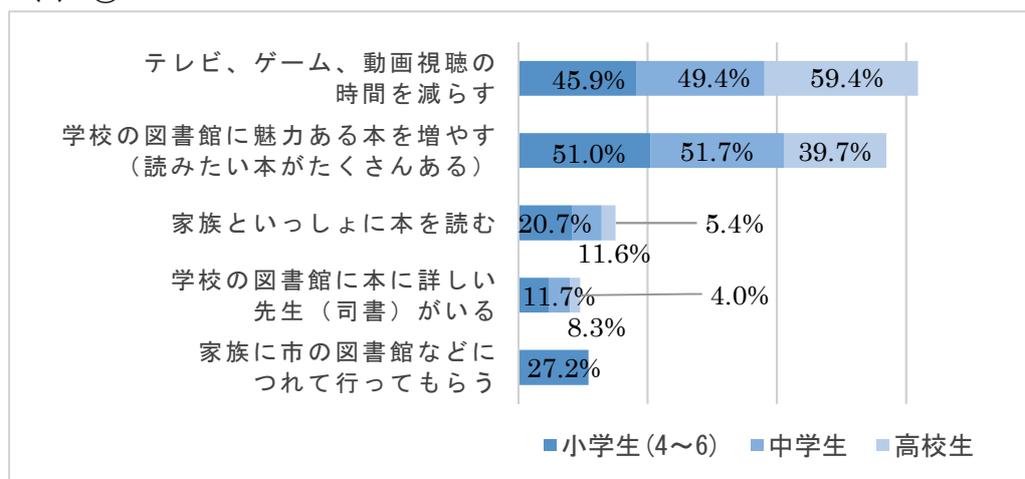


- ・「本を読むのが嫌い・どちらかという嫌い」と回答した小中学生、高校生は、読書量が少ないほど「めんどうだ」「面白くない」などマイナス傾向の回答が多く、一方で読書量が多い中学生・高校生では「知識が増える」「考える力がつく」などプラス傾向の回答も見受けられます。



(7) どうすれば今以上に多くの本を読むようになるか (複数回答可)

(7)-①



・全体的に、「テレビ、ゲーム、動画視聴の時間を減らす」と「学校の図書館に魅力ある本を増やす」が多い回答でした。

■ どうすれば今以上に多くの本を読むようになるか (小学生)

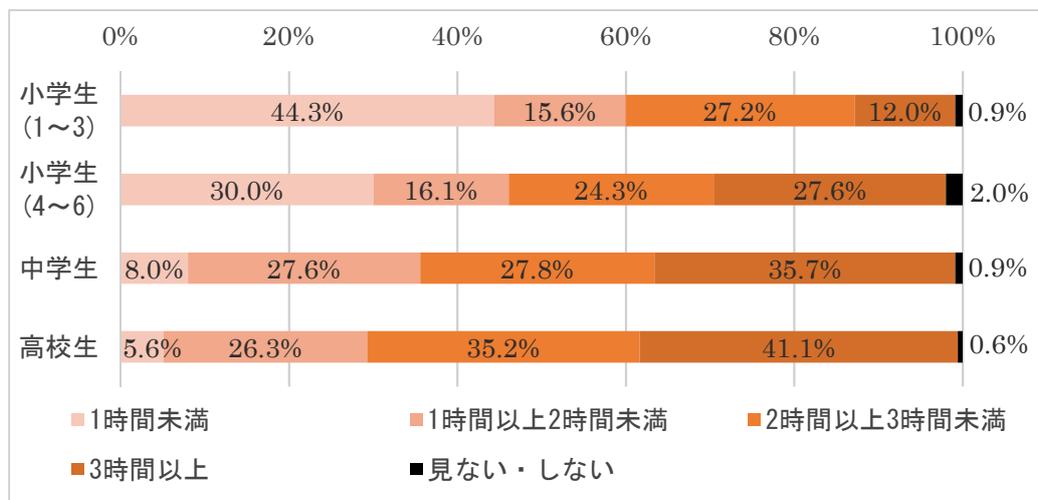
「本を読むのが好き・どちらかというとき」 × 「0冊/月 (不読)」	
学校の図書館に読みたい本がたくさんある	168人 (50.5%)
テレビ、ゲーム、動画をみる時間をへらす	140人 (42.0%)
家族に市の図書館などにつれて行ってもらう	130人 (39.0%)
家族と一緒に本を読む	242人 (72.7%)
学校の図書館に本のことを教えてくれる先生がいる	16人 (4.8%)
「本を読むのが嫌い・どちらかというとき嫌い」	
学校の図書館に読みたい本がたくさんある	66人 (8.0%)
テレビ、ゲーム、動画をみる時間をへらす	184人 (22.3%)
家族に市の図書館などにつれて行ってもらう	197人 (23.8%)
家族と一緒に本を読む	365人 (44.2%)
学校の図書館に本のことを教えてくれる先生がいる	14人 (1.7%)

「本を読むのが好き・どちらかというとき」で「0冊/月 (不読)」、「本を読むのが嫌い・どちらかというとき嫌い」と回答した小学生は、「家族と一緒に本を読む」が一番多い回答だったことから、身近な大人が本を読むための働きかけをすることが本を読むきっかけにつながるのではないかと考えられます。



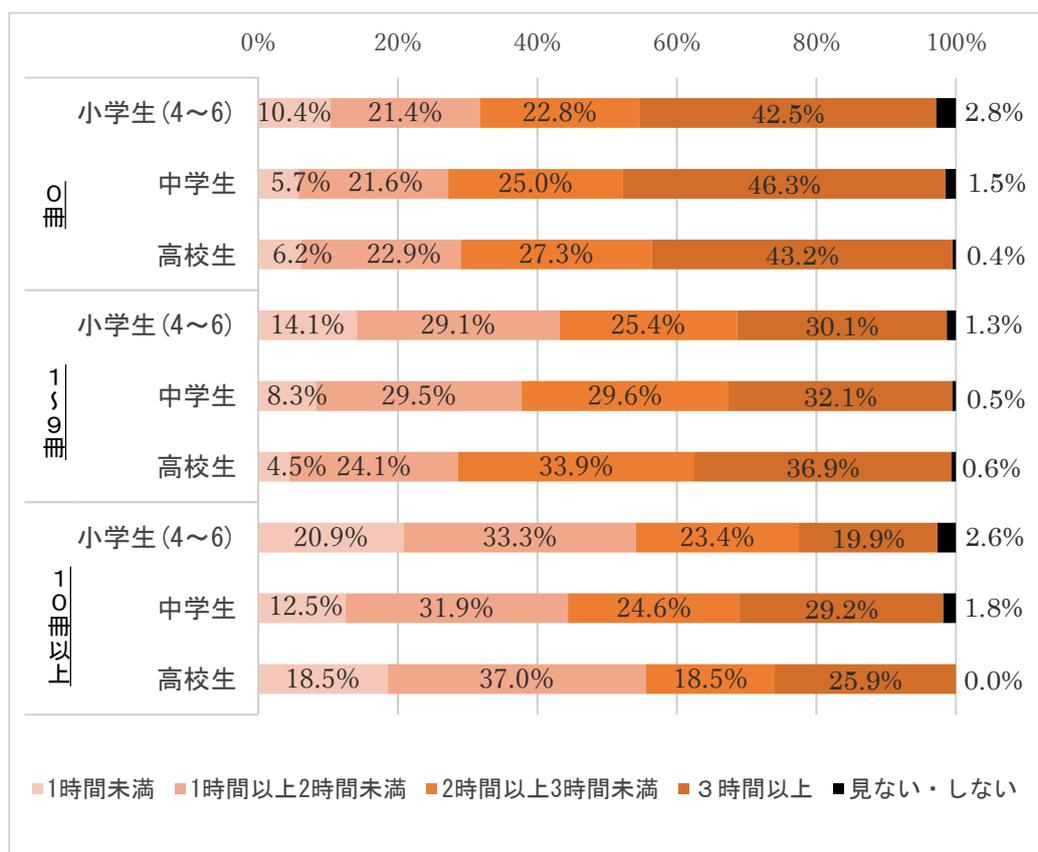
(8) 1日のテレビ、ゲームや動画の視聴時間について

(8)-①



- ・全体的にみると、学年が上がるにつれ、1日のテレビ、ゲームや動画の視聴時間は長くなる傾向がみられます。

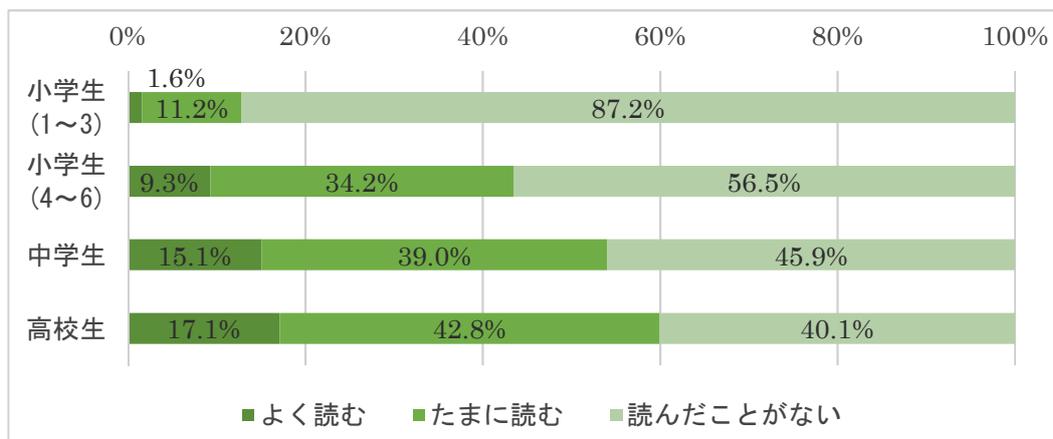
(8)-② 「1日のテレビ、ゲームや動画の視聴時間」 × 「1カ月の読書量」の割合



- ・全体的にみると、「読書量が多い」ほど1日のテレビ、ゲームや動画の視聴時間が短いのに対し、「読書量が少ない」ほど長くなる傾向がみられます。

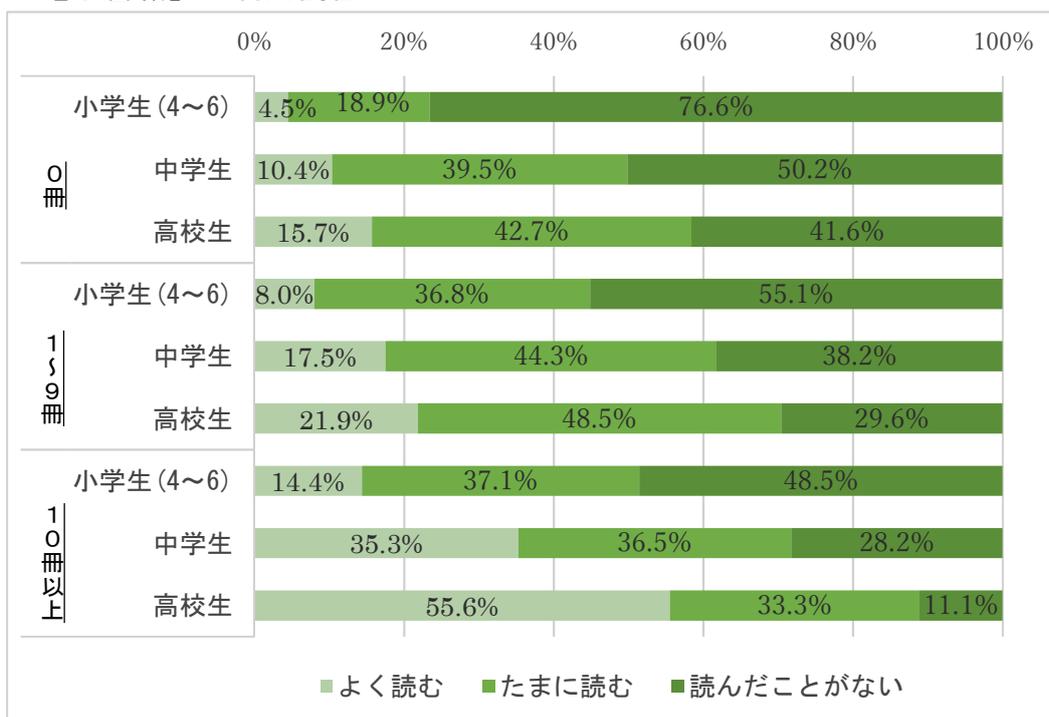
(9) 電子書籍について

(9)-①



・全体的にみると、学年が上がるにつれ、電子書籍の利用は増加しています。

(9)-② 「本を読むのが好き・どちらかというが好き」 × 「1ヵ月の読書量別」 × 「電子書籍」の利用割合



■ 「本を読むのが好き・どちらかというが好き」 × 「電子書籍の利用」

	小学生	中学生	高校生
10冊以上/月	863人 (51.5%)	427人 (71.8%)	24人 (88.9%)
1冊~9冊/月	950人 (44.9%)	1,685人 (61.8%)	528人 (70.4%)
0冊/月(不読)	78人 (23.4%)	312人 (49.8%)	52人 (58.4%)

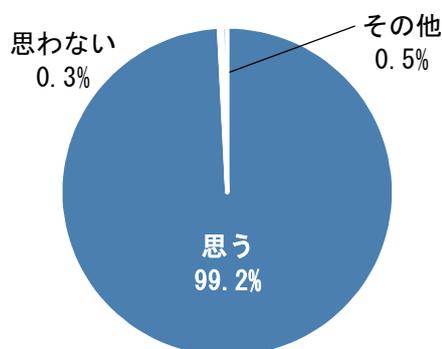
・全体的に、「本を読むのが好き・どちらかというが好き」で、読書量が多いと電子書籍の利用も多い傾向がみられます。

学年が上がるにつれ、電子書籍の利用数は増加傾向にあります。スマホやタブレットで気軽に本が読めるツールとして、電子図書館の利用促進を様々な機会を通じて行っていく必要があります。



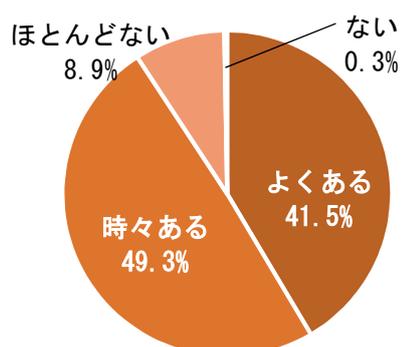
3 保護者へのアンケート結果

(1) 子どもが読書をすることは大切だと思うか



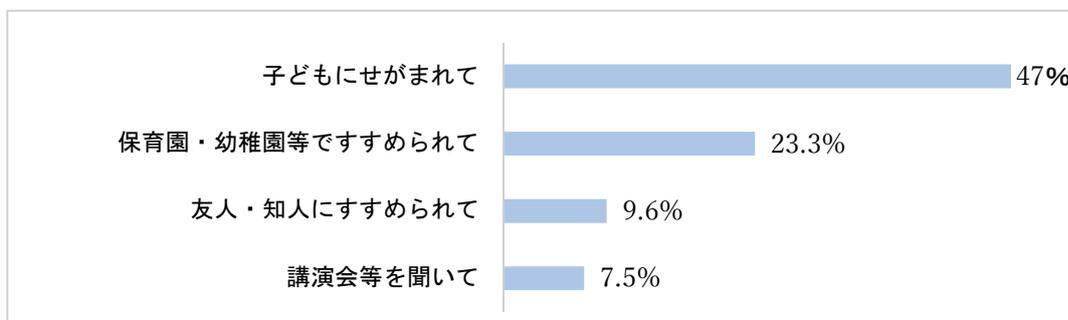
- ・ほとんどの保護者が、子どもが読書をすることを大切だと回答しています。

(2) 自分の子どもに読み聞かせの経験はあるか



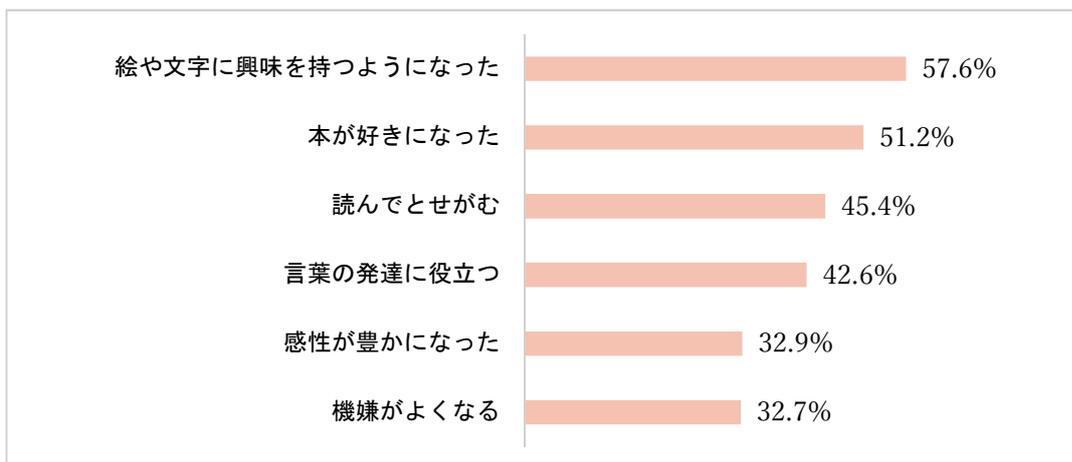
- ・読み聞かせの経験が「よくある」「時々ある」が90.8%と、多くの保護者が読み聞かせをしたことがあると回答しています。

(3) 読み聞かせを始めたきっかけ



- ・読み聞かせを始めたきっかけは、「子どもにせがまれて」が最も多く、「保育園・幼稚園ですすすめられて」「友人・知人にすすめられて」の順となっています。

(4) 読み聞かせをすることで子どもはどのように変化したか（複数回答可）



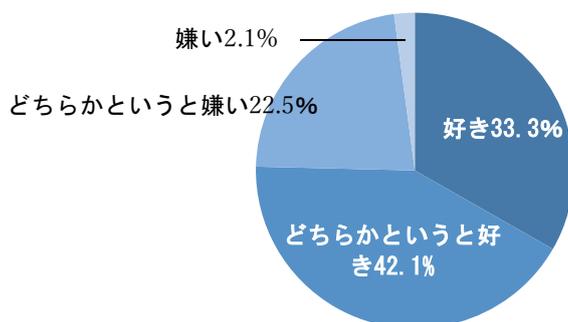
- ・「絵や文字に興味を持つようになった」「本が好きになった」「読んでとせがむ」などの割合が高くなっています。

(5) 読み聞かせの本はどのようにして用意しているか



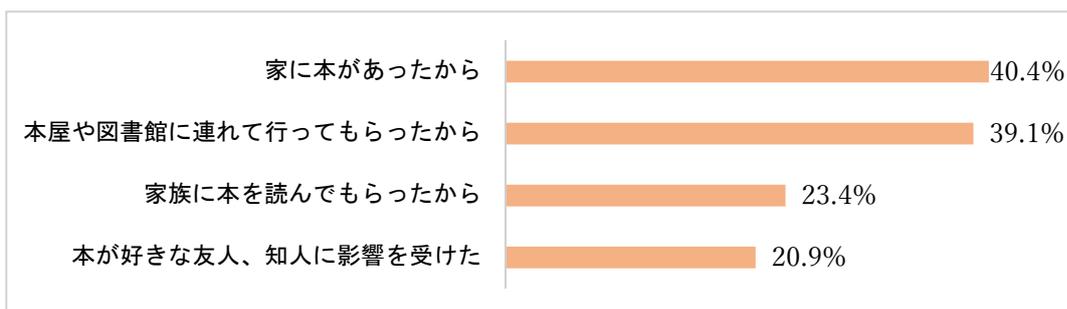
- ・「購入する」が最も多く、「市立図書館（移動図書館含む）等で借りる」「子どもが学校の図書館から借りてくる」の順となっています。

(6) 保護者自身は本を読むことは好きか



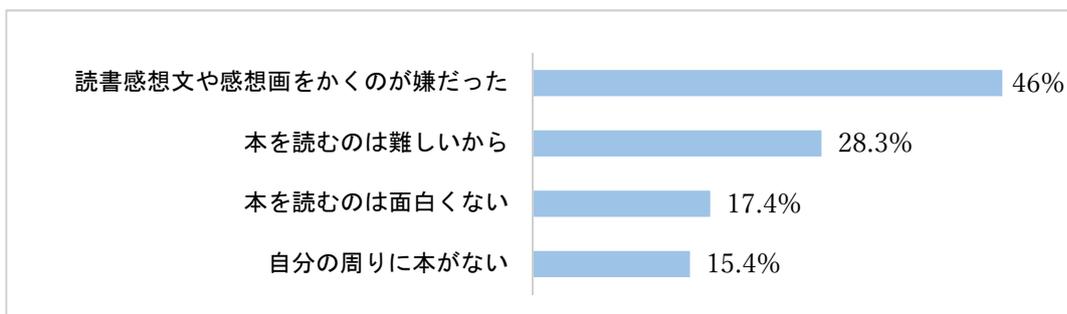
- ・「好き」「どちらかという好き」と回答した保護者の割合は75.4%で、本を読むことが好きな保護者の割合が多いことが伺えます。

(7) 本を読むのが好きになった理由（複数回答可）



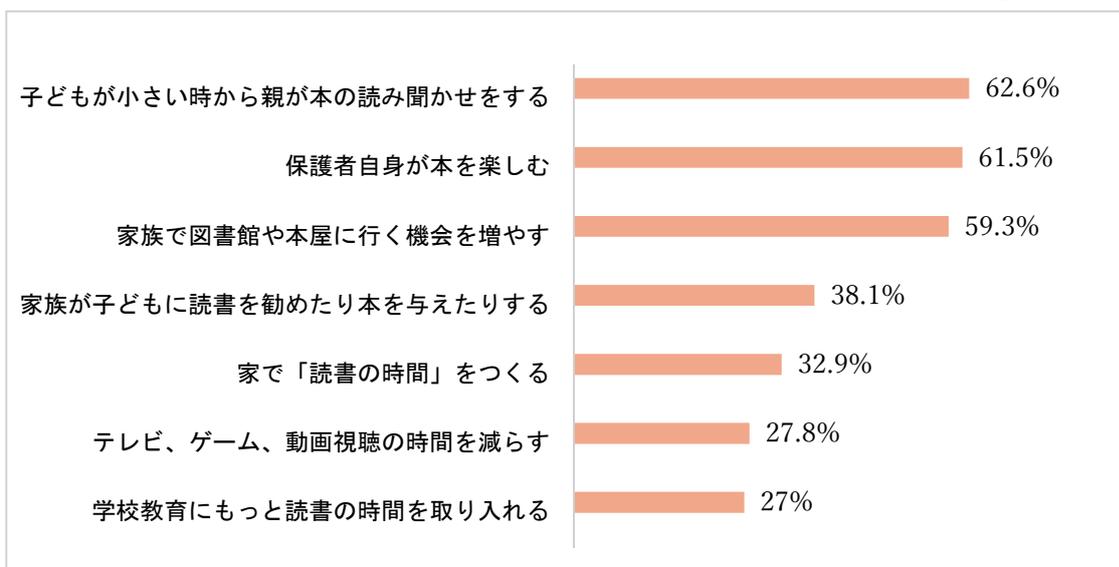
- ・「家に本があったから」「本屋や図書館に連れて行ってもらったから」の回答が多くなっています。

(8) 本を読むのが嫌いになった理由（複数回答可）



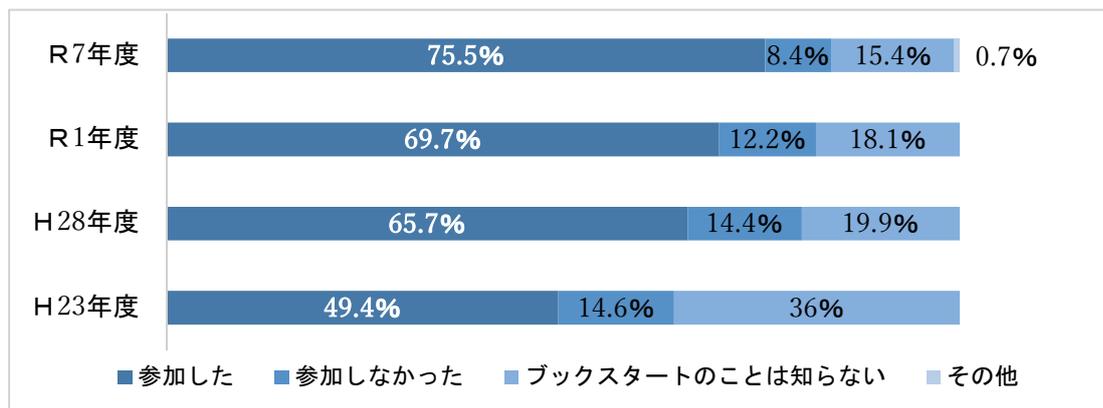
- ・「読書感想文や感想画をかくのが嫌だった」が最も多く、「本を読むのは難しいから」「本を読むのは面白くない」「自分の周りに本がない」の順になっています。

(9) どうすれば子どもたちがもっと本を読むようになると思うか（複数回答可）



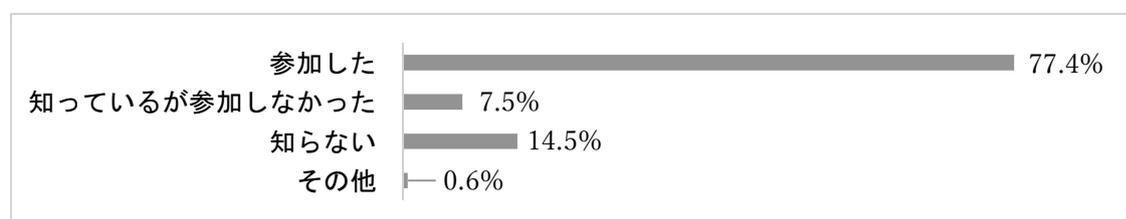
- ・「子どもが小さい時から親が本の読み聞かせをする」「保護者自身が本を楽しむ」「家族で図書館や本屋に行く機会を増やす」が多い回答となっています。

(10) ブックスタートに参加したか



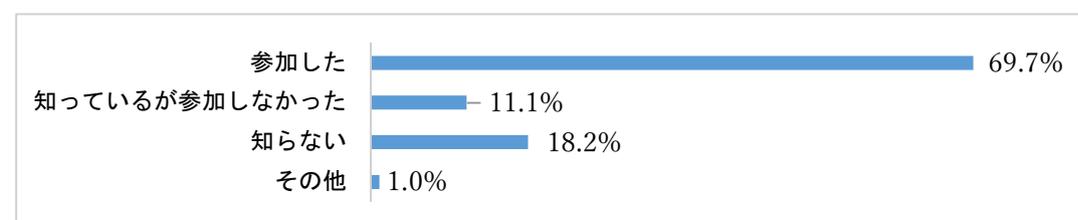
・ブックスタートに参加したことがある保護者の割合は増加傾向にあります。

(10) -① 本を読むことが好きな保護者のブックスタート参加割合



・自分が本を読むことが「好き」「どちらかというが好き」と回答した保護者で、ブックスタートに「参加した」割合は77.4%、「知っているが参加しなかった」が7.5%、「知らない」が14.5%でした。

(10) -② 本を読むことが嫌いな保護者のブックスタート参加割合



・自分が本を読むことが「嫌い」「どちらかという嫌い」と回答した保護者で、ブックスタートに「参加した」割合は69.7%、「知っているが参加しなかった」が11.1%、「知らない」が18.2%でした。

保護者は、自身が本を読むことが好きか嫌いかにより左右されることなく、子どもと絵本に親しむことについては抵抗が少なく、子育てに絵本を取り入れることに前向きであることが伺えます。

今後も引き続き、関係部局と連携しながら、ブックスタートの参加率の向上を目指していく必要があります。